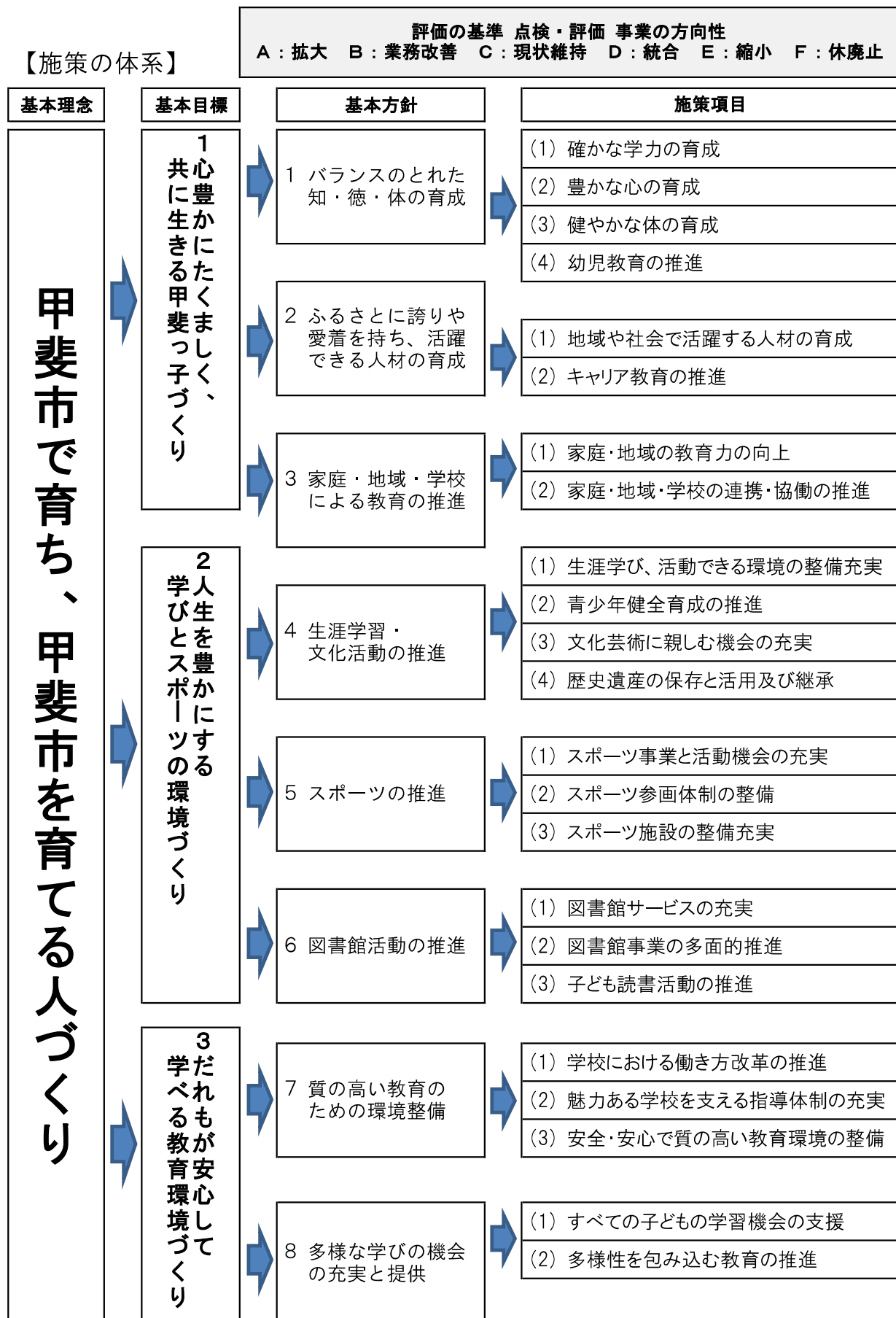


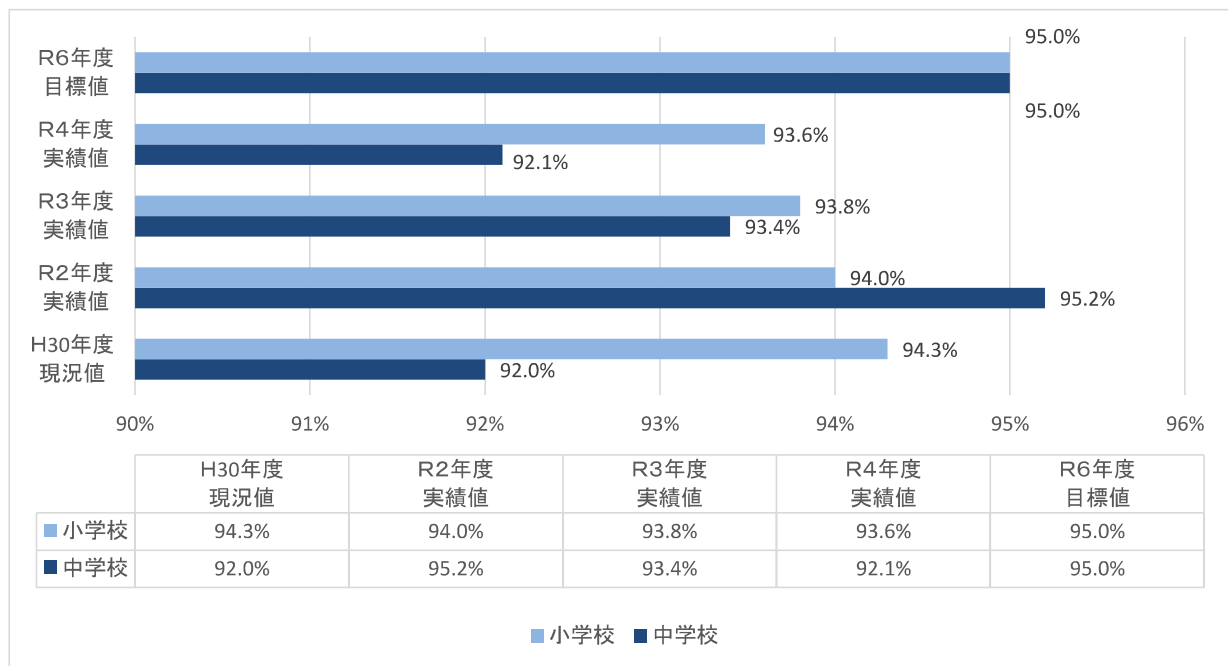
2.「創甲斐教育推進事業」の点検・評価

第2次創甲斐教育推進大綱事業において施策項目、指標をもとに、実績値及び取組内容と目標値を踏まえて、分析評価した結果を記載しました。



基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(1)	確かな学力の育成	

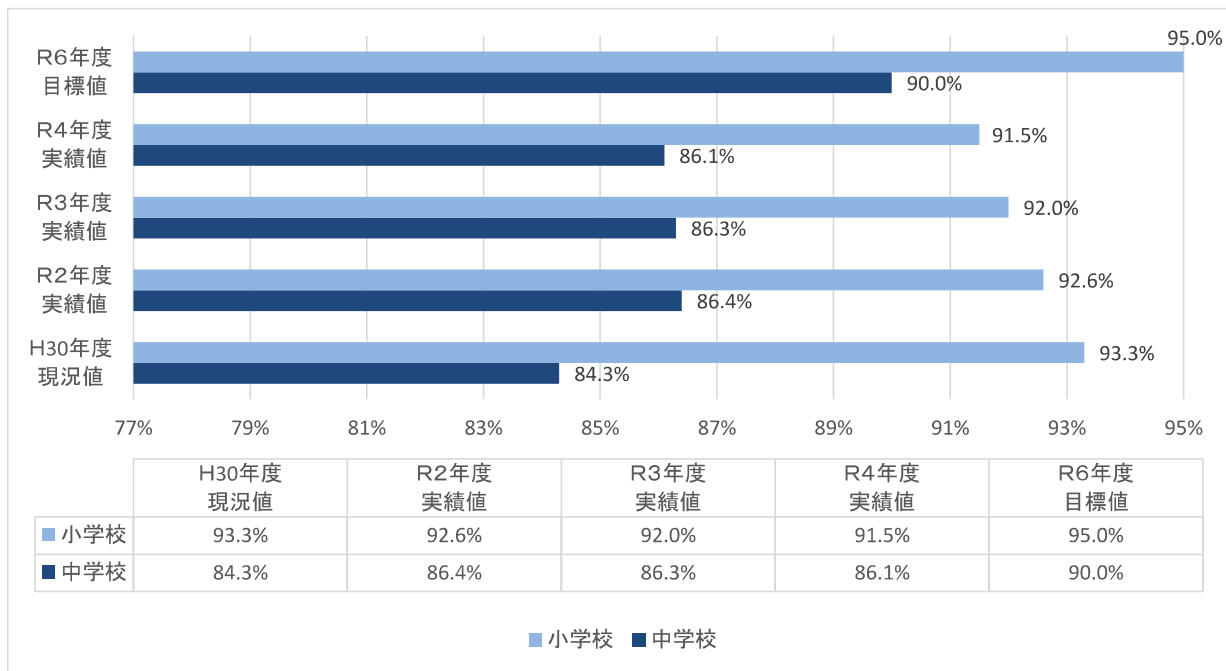
目標となる指標	1	甲斐市学校評価・児童生徒用アンケートにおける「国語の授業の内容はわかりますか」の設問に「とてもわかる」「わかる」と回答した児童生徒の割合
取組内容	「表現力の向上」を目指す中で、思ったこと、感じた事を相手に伝えるために、発達段階に応じた文章表現や思考をまとめる記述の仕方を学習し表現方法を工夫する手立てを講じた。	



分析・評価	一人一台端末を活用し、他者との意見交換をする場面は増加した。しかし、端末の使い方の面でまだまだ手探りの状態が続いているため、効果は十分ではないと考える。教師の発問を工夫することで、個の考えを全体に広げる工夫を講じることができた。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(1)	確かな学力の育成	

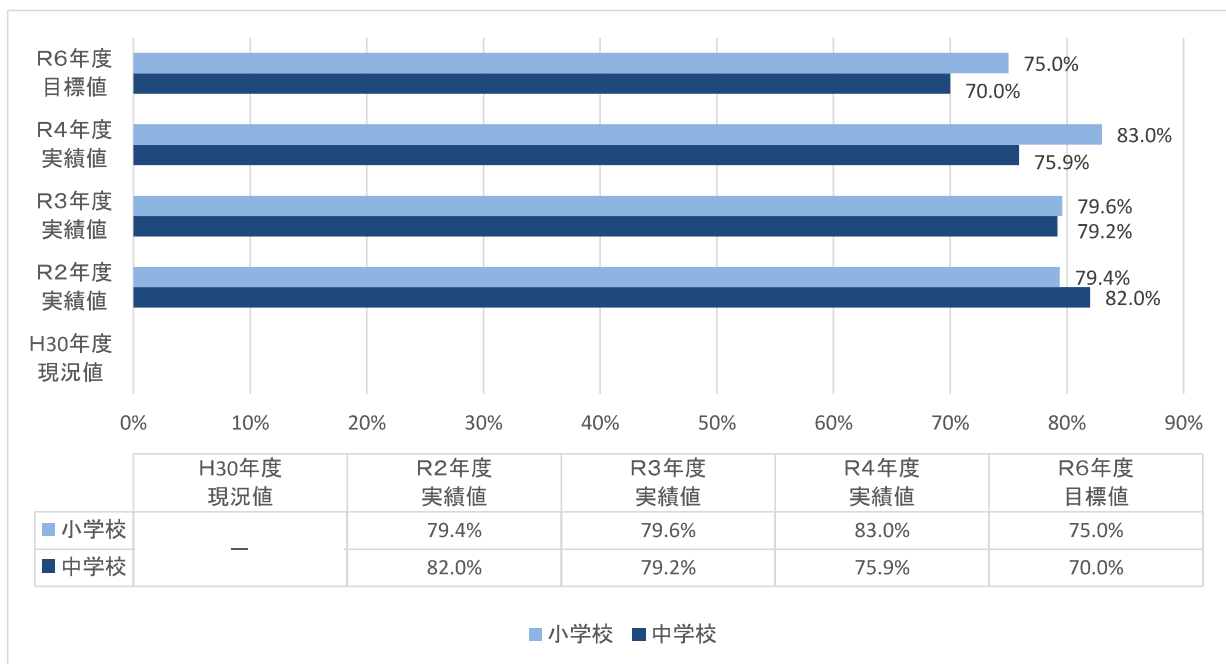
目標となる指標	2	甲斐市学校評価・児童生徒用アンケートにおける「算数(数学)の授業の内容はわかりますか」の設問に「とてもわかる」「わかる」と回答した児童生徒の割合
取組内容	図形の学習などでは、教師用デジタル教科書を用いて、具体的に操作し、示すことで理解につなげる工夫をした。学習内容が量的・質的により高度になる中学校では、基礎的な内容と応用的な内容との時間配分に工夫した。	



分析・評価	小学校段階での基礎的な学習内容の定着が進学後の個人差に現れる。小学校段階で確実に理解させることが中学校段階での「とてもわかる」「わかる」大きく影響していくため、基礎的な学習内容の定着を今後もしっかり行っていく。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(1)	確かな学力の育成	

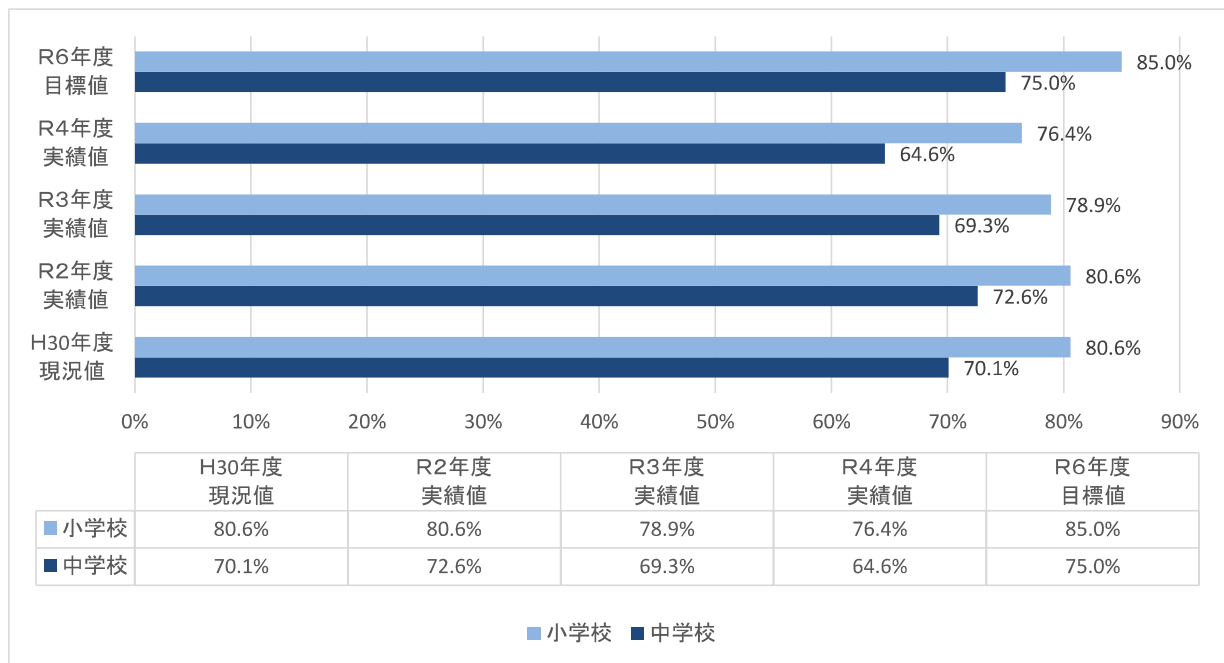
目標となる指標	3	甲斐市学校評価・児童生徒用アンケートにおける「外国語の授業は好きですか（内容はわかりますか）」の設問に「とても好き(わかる)」「好き(わかる)」と回答した児童生徒の割合（ ）は中学生
取組内容	小学校に教科としての外国語が導入されて3年目となる。英単語の学習や会話を通した表現の方法の理解など楽しみながら取り組む工夫を小学校段階では行った。中学校では会話を中心に授業時間をオールイングリッシュで行うように努めた。	



分析・評価	コロナの影響のため、マスクをした状態での発音練習や口元の動かし方等、学習を進める上で課題が大きく見られた。学習者用デジタル教科書などを活用し理解につなげる工夫を講じた。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(1)	確かな学力の育成	

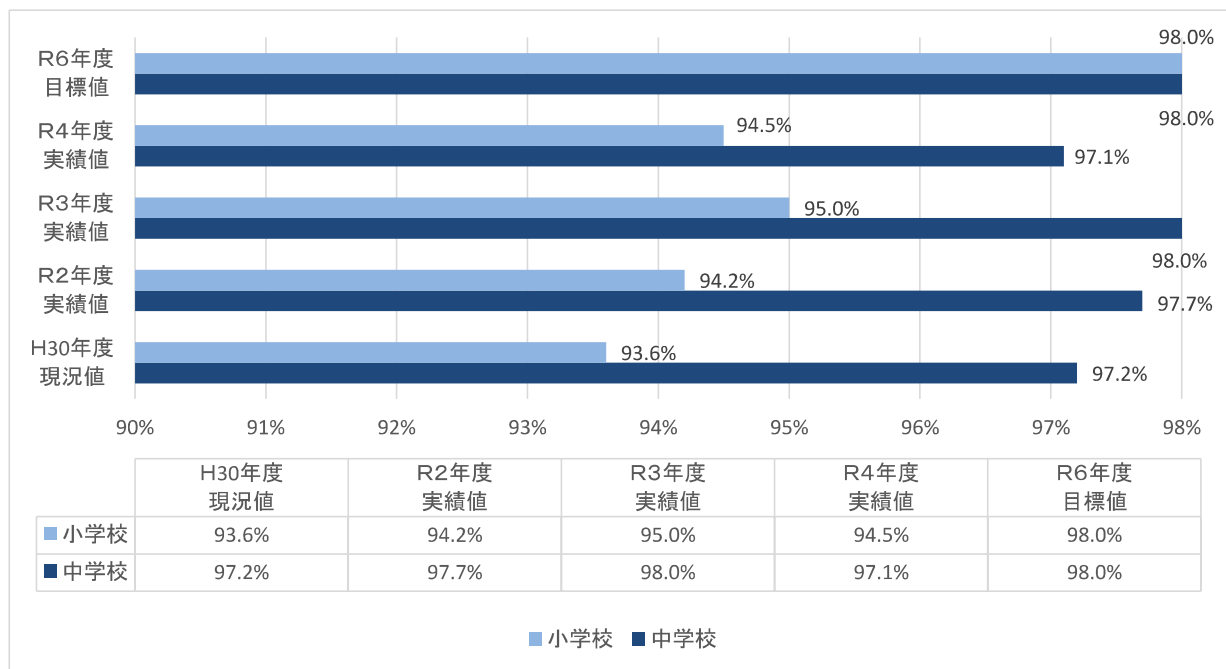
目標となる指標	4	甲斐市学校評価・児童生徒用アンケートにおける「平日、学校以外で学年の目標時間の勉強をしていますか」の設問に「いつもしている」「だいたいしている」と回答した児童生徒の割合
取組内容	家庭学習の習慣化に向け、学校ごとに取組方法を検討・実践した。昨年度までの創甲斐教育推進事業の小中連携を基礎として、家庭学習の取組方法を統一した。	



分析・評価	自ら学ぶ力をつけるため、各校とも家庭学習への取組ませ方を研究している。小中で情報交換することで、進学後も迷いなく家庭学習に取り組めたとの報告もあった。中学校区ごとに今後も情報交換を重ねる必要性が有る。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(2)	豊かな心の育成	

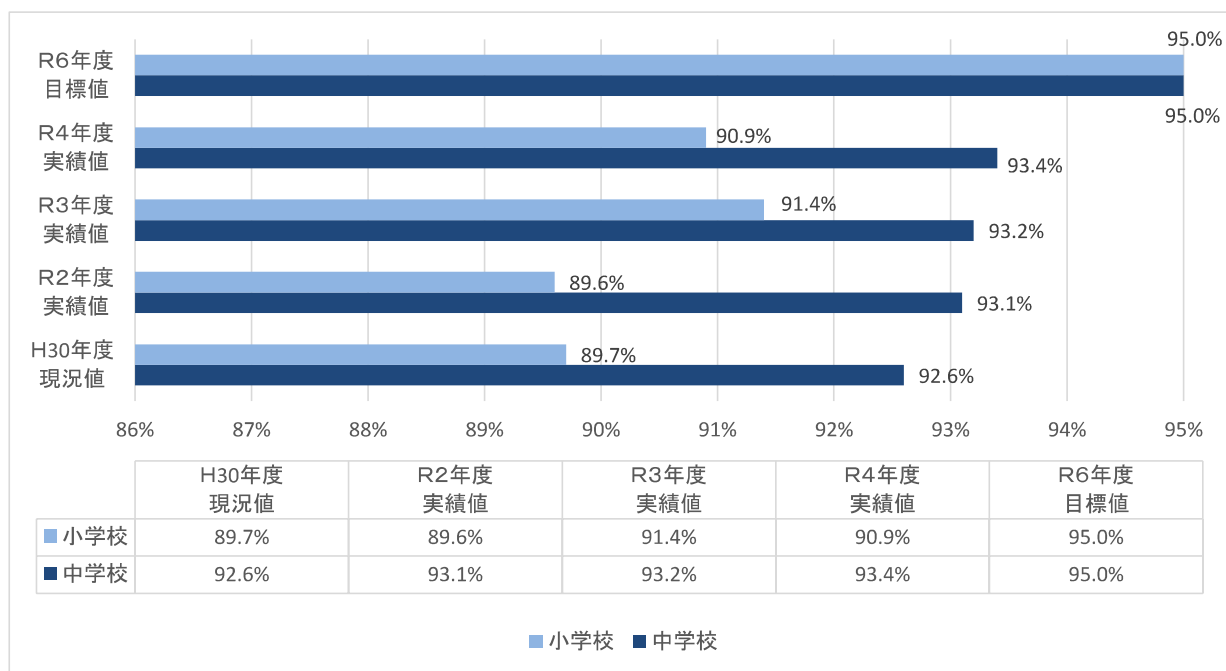
目標となる指標	1	甲斐市学校評価・児童生徒用アンケートにおける「学校のきまりや約束を守っていますか」の設問に「よく守っている」「守っている」と回答した児童生徒の割合
取組内容	甲斐っ子の宝の取組を市内全校が統一して行い、学校での規範意識の向上を図った。	



分析・評価	市内全校が統一して取組を行っていることが、規範意識が定着につながった。	評価	C
-------	-------------------------------------	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(2)	豊かな心の育成	

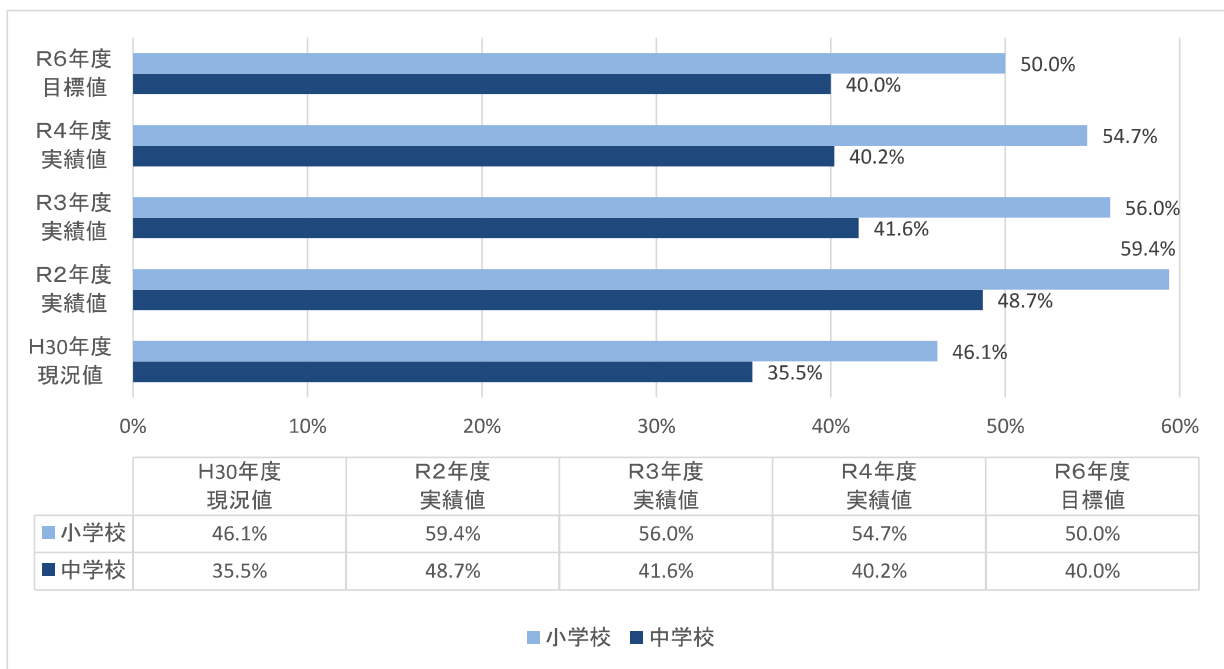
目標となる指標	2	甲斐市学校評価・児童生徒用アンケートにおける「人が困っているときは、進んで助けていますか」の設問に「進んで助けている」「助けている」と回答した児童生徒の割合
取組内容	道徳の時間の充実や教員の指導力向上を図るとともに、道徳の授業を地域や保護者に公開し、それぞれが連携して子どもたちの道徳性を育む取組を進めた。	



分析・評価	道徳の授業の充実や指導力向上が、児童生徒の道徳性を育み、人を思いやる気持ちへとつながった。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(2)	豊かな心の育成	

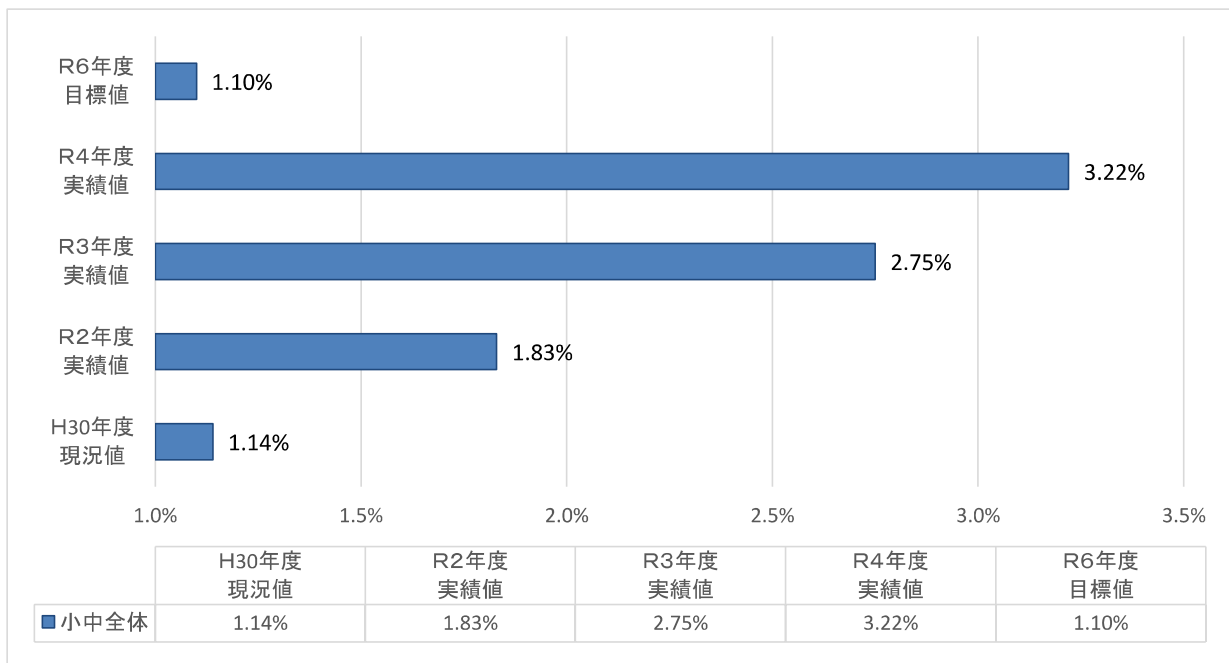
目標となる指標	3	甲斐市学校評価・児童生徒用アンケートにおける「平日、家や図書館などで、一日あたりどのくらいの時間、読書を読みますか」の設問に「30分以上」と回答した児童生徒の割合
取組内容	朝読書や読み聞かせ活動、家庭や他機関との連携した読書の取組を進めた。	



分析・評価	朝読書を続けることで習慣化した。また、家庭や他機関と連携した取組が、読書への興味関心を高め、豊かな情操を育むことへとつながった。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(2)	豊かな心の育成	

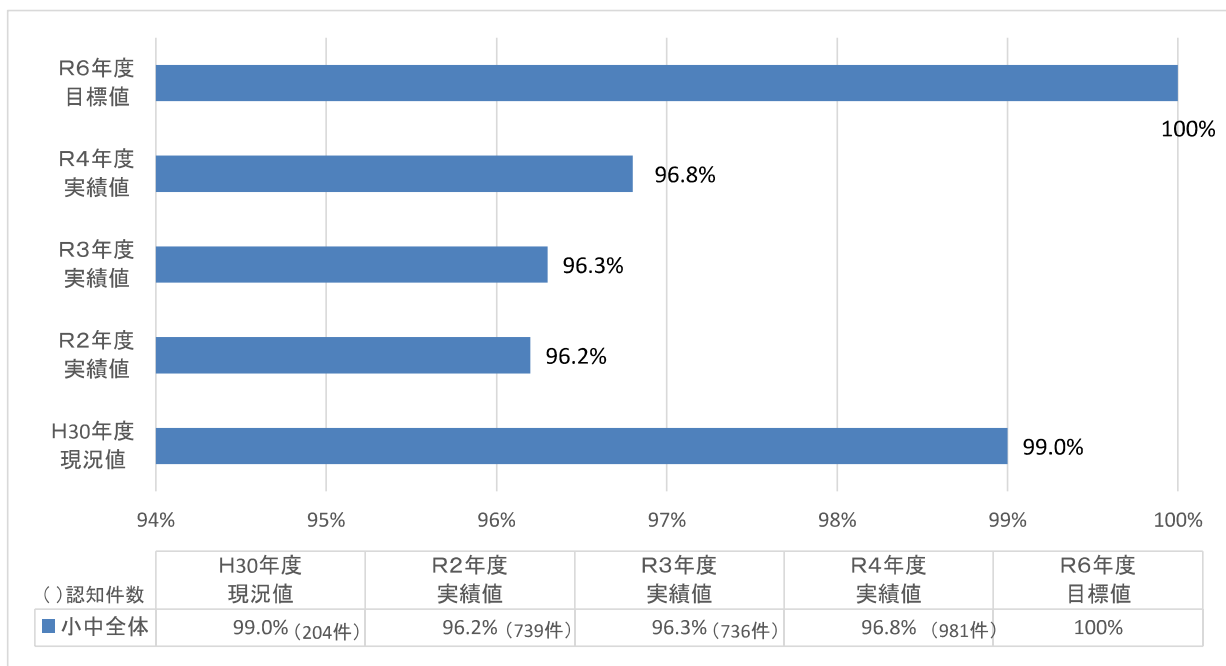
目標となる指標	4	市独自の長期欠席児童生徒用アンケートにおける「不登校児童生徒」の割合
取組内容	リーフレットの作成や研修を実施し、未然防止や居場所づくりの取組を推進するとともに、スクールカウンセラーや適応指導教室の活用を促した。また、新たな選択肢として令和4年から甲斐ゼミナールと協定を結び、学外適応指導教室(甲斐ゼミ教室)を設置した。	



分析・評価	リーフレットや研修により教員の意識改革が進み、また適応指導教室を活用することが、再登校・学校復帰への足掛かりとなった。また、学外適応指導教室(甲斐ゼミ教室)を周知し、活用する子どもが増えたことで学力不安の解消、新たな居場所作りにつながった。令和5年度から、学外適応指導教室を新たに1教室増やし、運営していく。	評価	A
-------	--	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(2)	豊かな心の育成	

目標となる指標	5	市独自の「児童生徒のいじめに関する状況調査」における公立学校の「いじめの解消率」（翌年度6月末までに解消した件数の割合）
取組内容	児童生徒への日常的な声かけや定期的なアンケートを実施し、早期発見・早期対応を図った。また、いじめ防止の観点から学級づくりの研修を行った。	

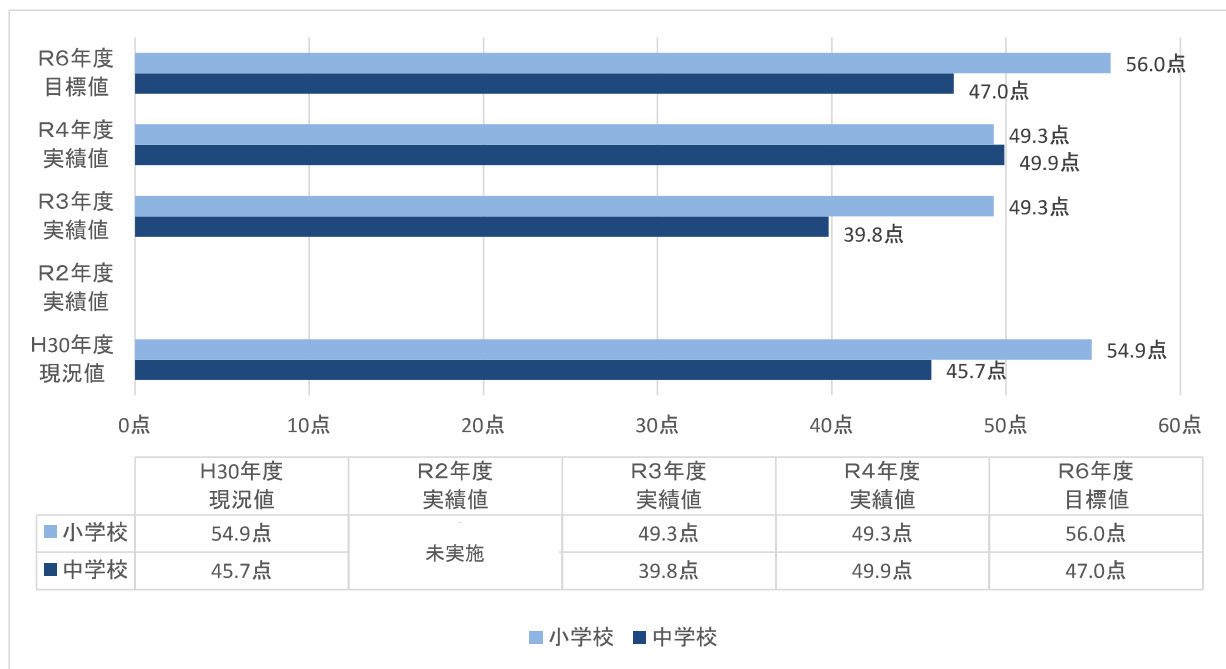


※令和3年度、甲斐市のウェブサイト等で公表した令和2年度実績値は、「3ヵ月間はいじめが解消したとみなさない」とする期間が含まれていたため解消率が低くなっている。

分析・評価	日常的な声掛けや定期的なアンケートの実施により、早期発見・早期対応ができ、いじめ解消へとつながった。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(3)	健やかな体の育成	

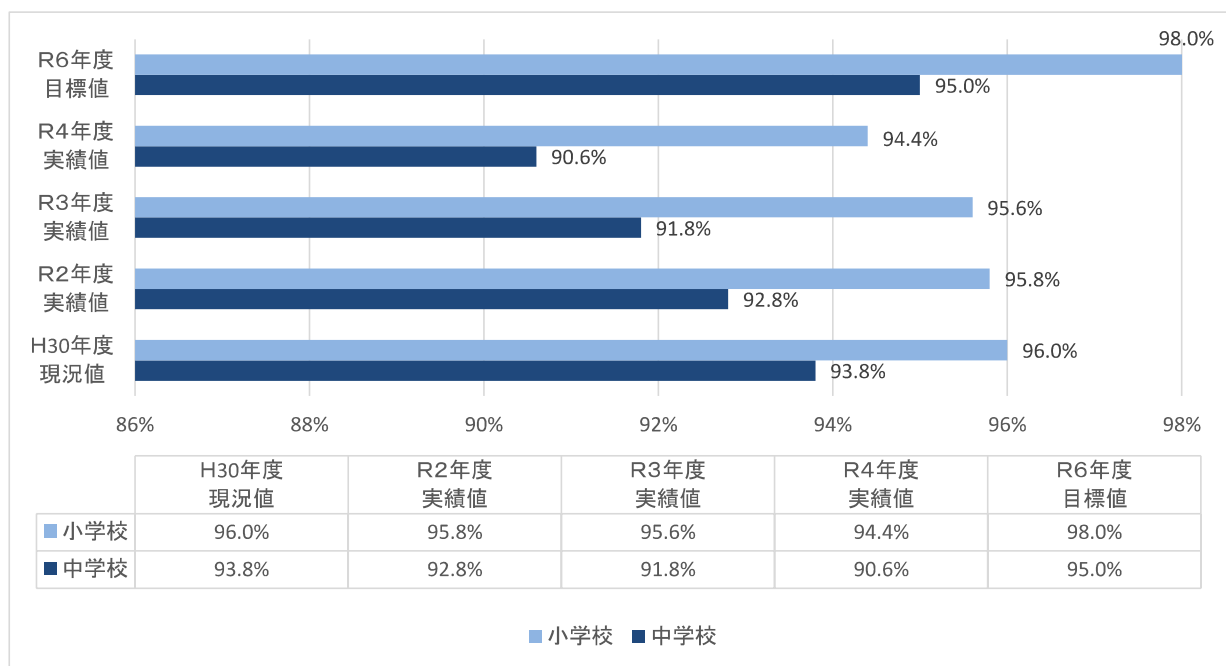
目標となる指標	1	「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で小学5年生と中学2年生のボール投げや50メートル走など8種目の数値を得点化した体力合計点(80点満点)
取組内容	ボールを投げるための基本的な動作を確認した。ボールを投げる楽しさを味わいながら、異なる大きさのボールを扱う授業を取り入れた。	



分析・評価	コロナ禍で日常的に運動に親しむ子どもと、そうでない子どもの二極化が進んでいる。体を動かすことの楽しさ、生涯スポーツとして運動を続けるための基本動作や基礎体力作りをすすめてきた。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(3)	健やかな体の育成	

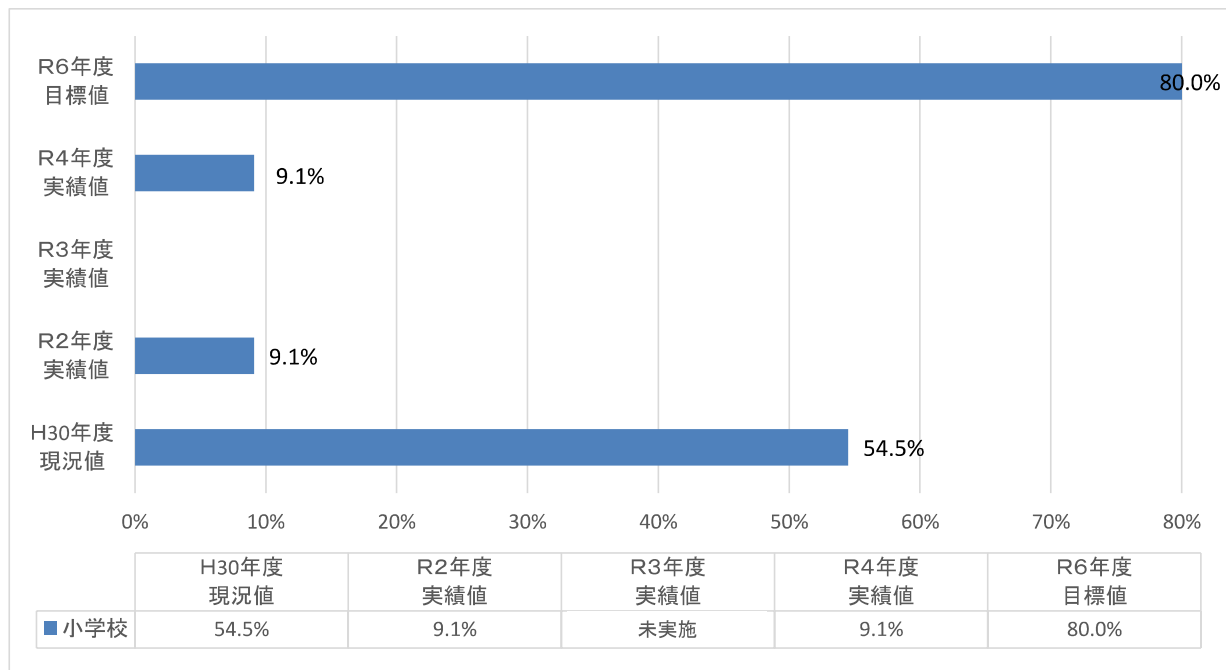
目標となる指標	2	甲斐市学校評価アンケートにおける「朝ごはんを食べて登校していますか」の設問に「いつも食べている」「だいたい食べている」と回答した児童生徒の割合
取組内容	「早寝」「早起き」「朝ごはん」の大切さを、道徳や特別活動、保健の授業等で取扱い、家庭に対しては保健だより、給食だより等を通じて周知した。	



分析・評価	生活リズムの乱れから朝食を摂れない、摂る時間がないと答える児童生徒もみられ、健康な体づくりの視点からの継続した指導をすすめた。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	1	バランスのとれた知・徳・体の育成	学校教育課
施策項目	(4)	幼児教育の推進	

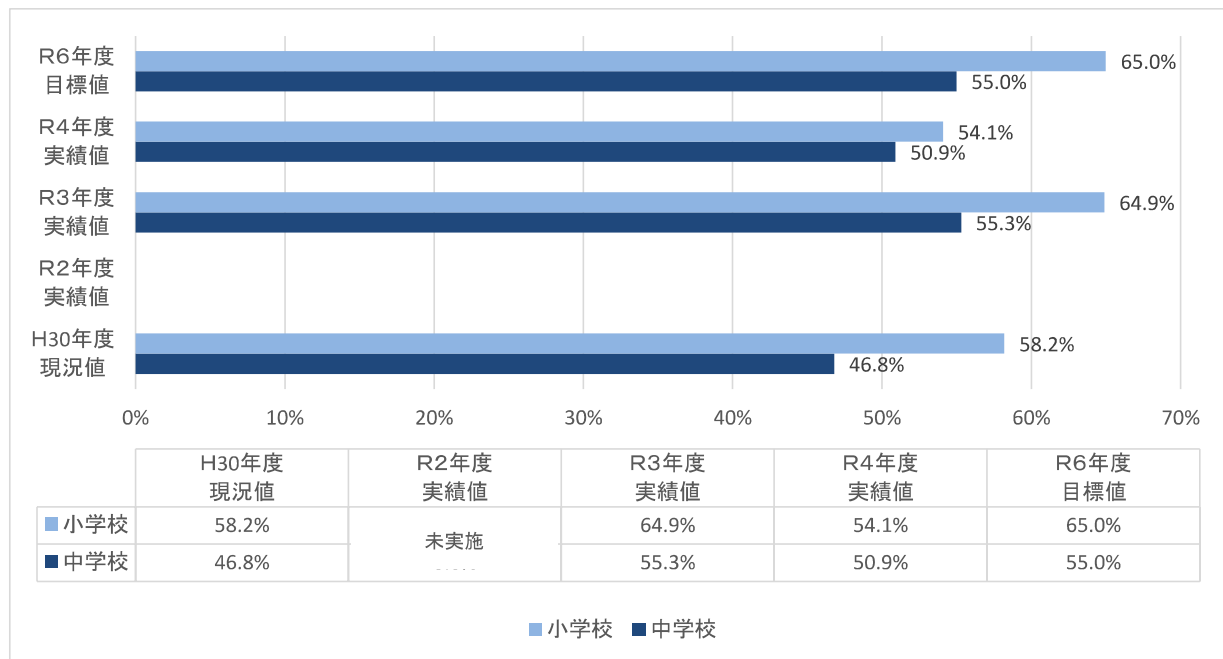
目標となる指標	1	幼稚園や保育園との交流活動を年3回以上行った小学校の割合
取組内容	幼稚園や保育園との交流を計画し、情報交換等を中心に実施した。しかしながら新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送る学校が多かった。	



分析・評価	感染症拡大防止を理由とし、急遽中止等が多くあった。	評価	C
-------	---------------------------	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	2	ふるさとに誇りや愛着を持ち、活躍できる人材の育成	学校教育課
施策項目	(1)	地域や社会で活躍する人材の育成	

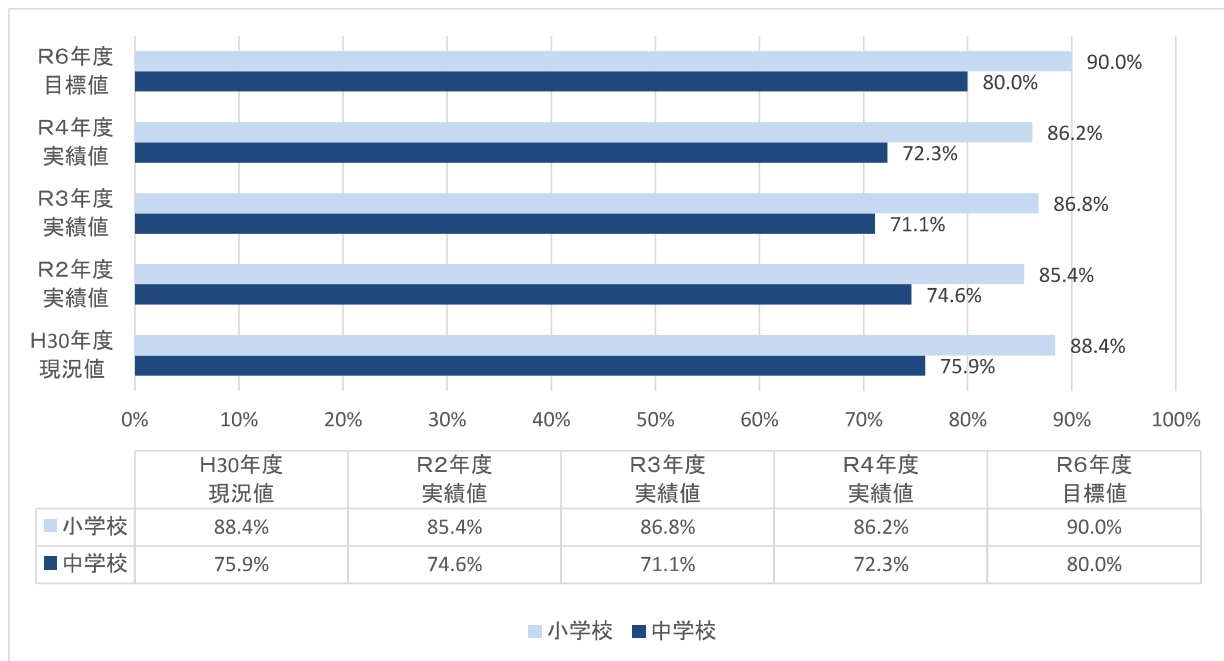
目標となる指標	1	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合
取組内容	それぞれの教科で「地域に目を向ける」活動が提示されており、学習を進めながら、地域に目を向ける活動を取り入れた。	



分析・評価	学校での活動は地域や社会とのつながりなしには成り立たないことを理解し、社会の一員として自分に何ができるのかを考えさせる場面を教育活動全般において意識的に設定することができた。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	2	ふるさとに誇りや愛着を持ち、活躍できる人材の育成	学校教育課
施策項目	(2)	キャリア教育の推進	

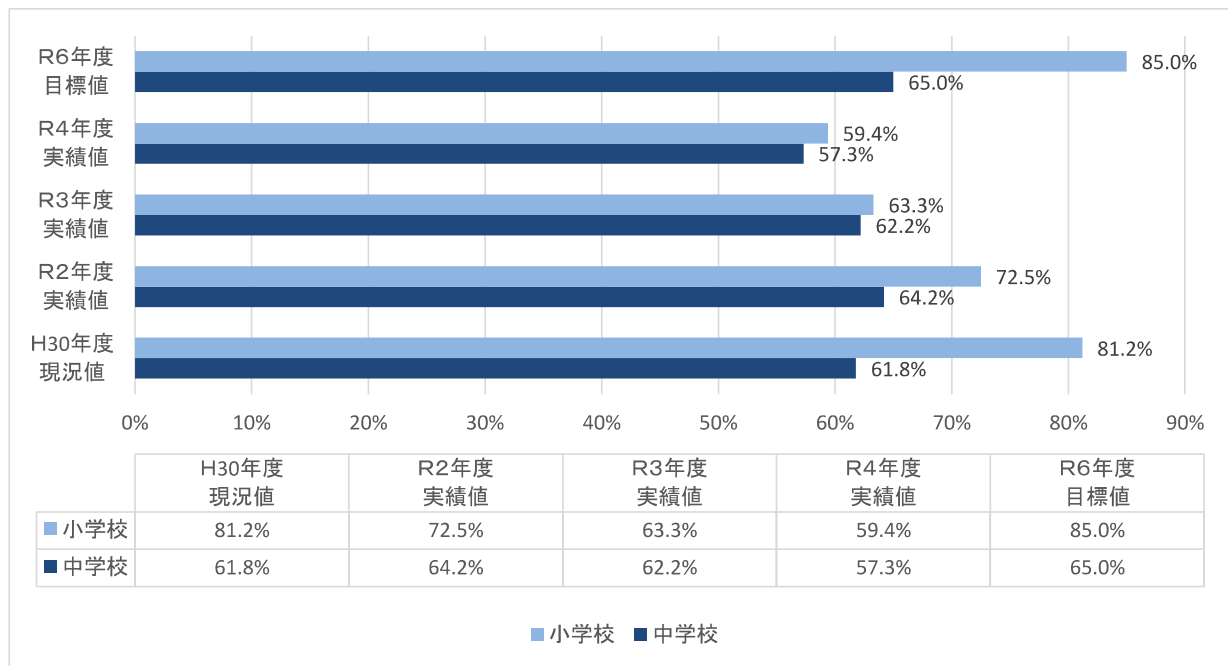
目標となる指標	1	甲斐市学校評価・児童生徒用アンケートにおける「将来の夢や希望を持っていますか」の設問に「しっかり持っている」「持っている」と回答した児童生徒の割合
取組内容	中学校において、職場体験の実施や職業調べの取組を通して、望ましい職業観・勤労観の育成を図った。	



分析・評価	職業調べについて年間指導計画に基づき、進めることができた。また、職場体験や職場見学を通じて、望ましい職業観・勤労観を学ぶことができた。幅広い職種を体験できるよう市の商工会にも協力を要請した。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	3	家庭・地域・学校による教育の推進	学校教育課
施策項目	(1)	家庭・地域の教育力の向上	

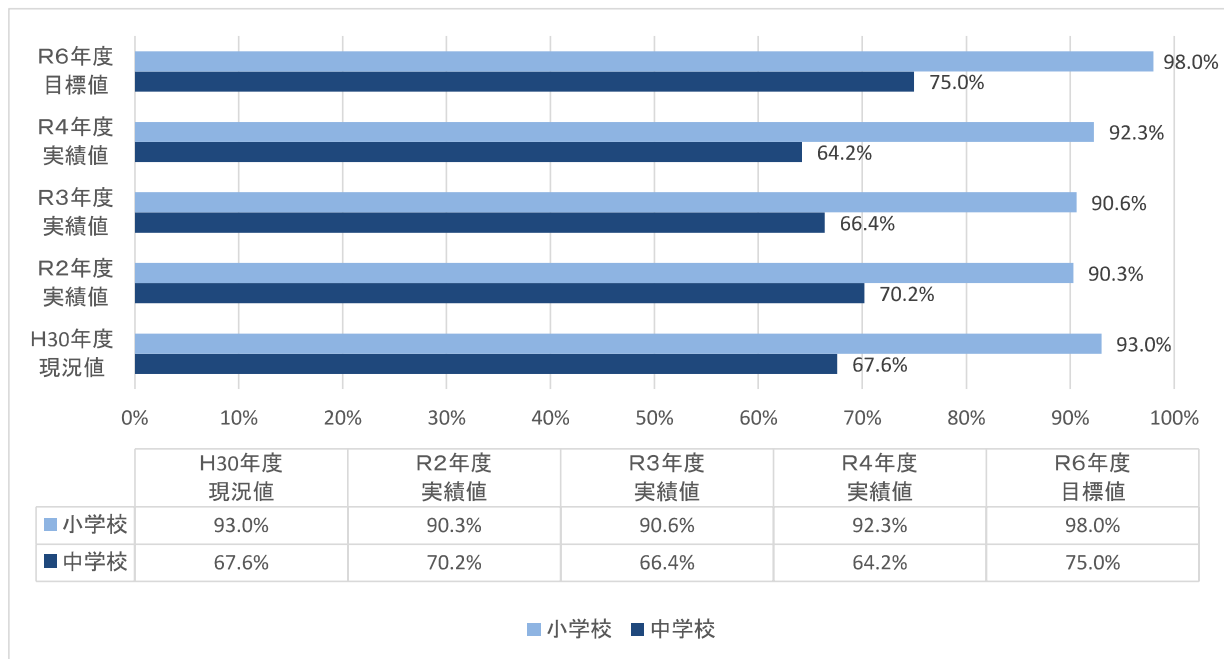
目標となる指標	1	甲斐市学校評価・児童生徒用アンケートにおける「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の設問に「よく参加している」「だいたい参加している」と回答した児童生徒の割合
取組内容	市子どもクラブ指導者連絡協議会主催の球技大会、野外活動及び各自治会の子どもクラブ(育成会)の活動を支援した。また、青少年健全育成を啓発するため、「家庭の日」「青少年を育む日」の啓発作品募集・表彰を行った。	



分析・評価	コロナ禍で地域の行事そのものが減少しているが、地域と家庭が共通認識のもと、そのなかでも出来ることに連携して取り組むことができた。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	1	心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり	担当課
基本方針	3	家庭・地域・学校による教育の推進	学校教育課
施策項目	(2)	家庭・地域・学校の連携・協働の推進	

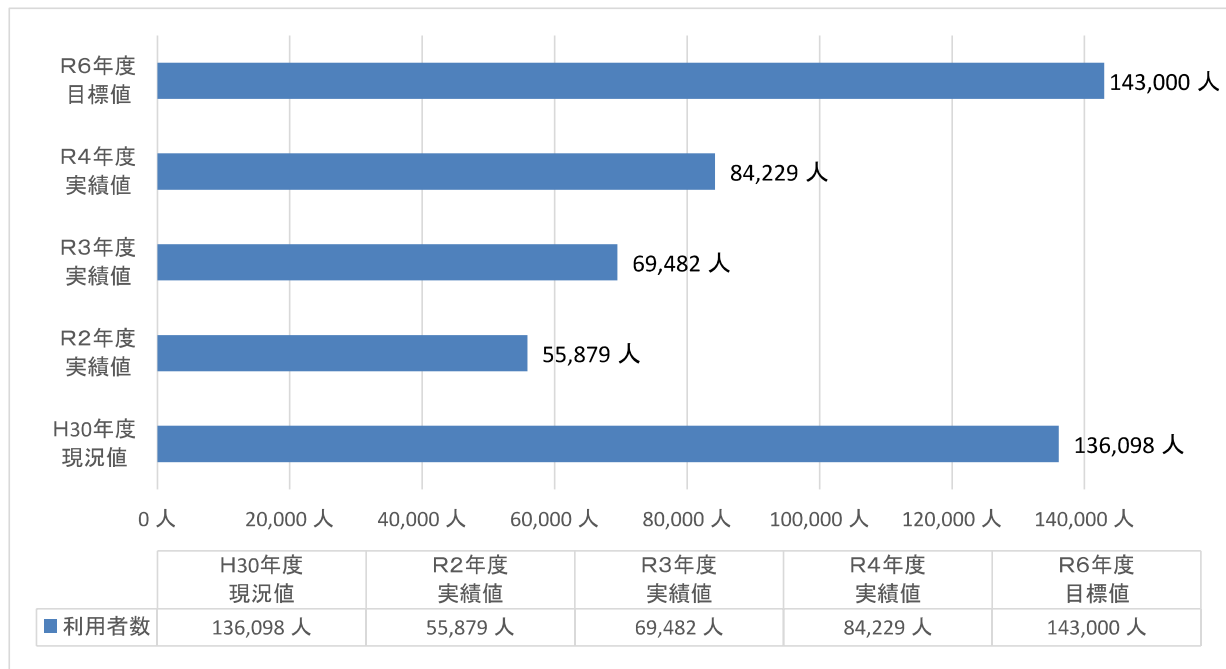
目標となる指標	1	甲斐市学校評価・教職員用アンケートにおける「あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っていますか」の設問に「とてもそう思う」「そう思う」と回答した教職員の割合
取組内容	「生き生き人材」を活用した体験学習や、習字、合唱など地域の方々から指導を受ける時間、職場体験等の学習を設定した。	



分析・評価	コロナの影響を受け、地域の人材を活用した授業実践を行うこと自体を見合わせた傾向がみられる。一方でオンライン等のICTを活用した実践も見られ、新たな形として期待できる。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	4	生涯学習・文化活動の推進	生涯学習文化課
施策項目	(1)	生涯学び、活動できる環境の整備充実	

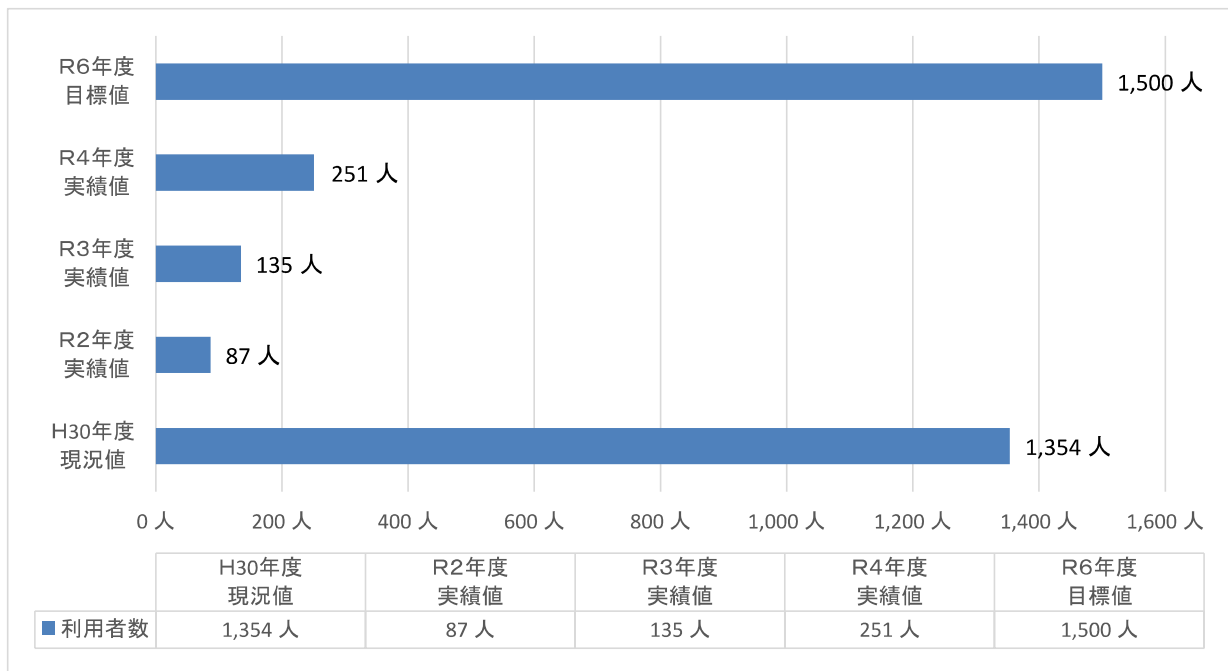
目標となる指標	1	市公民館(地域ふれあい館、セミナーハウス含む)の利用者数
取組内容	各公民館等において、多様化した市民ニーズに対応した学習活動や体験活動、働きながらも学ぶ機会が得られるよう学習等機会の提供を図った。	



分析・評価	ガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、定員を制限しながら実施した。令和3年度より利用者は10,000人以上増加した。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	4	生涯学習・文化活動の推進	生涯学習文化課
施策項目	(2)	青少年健全育成の推進	

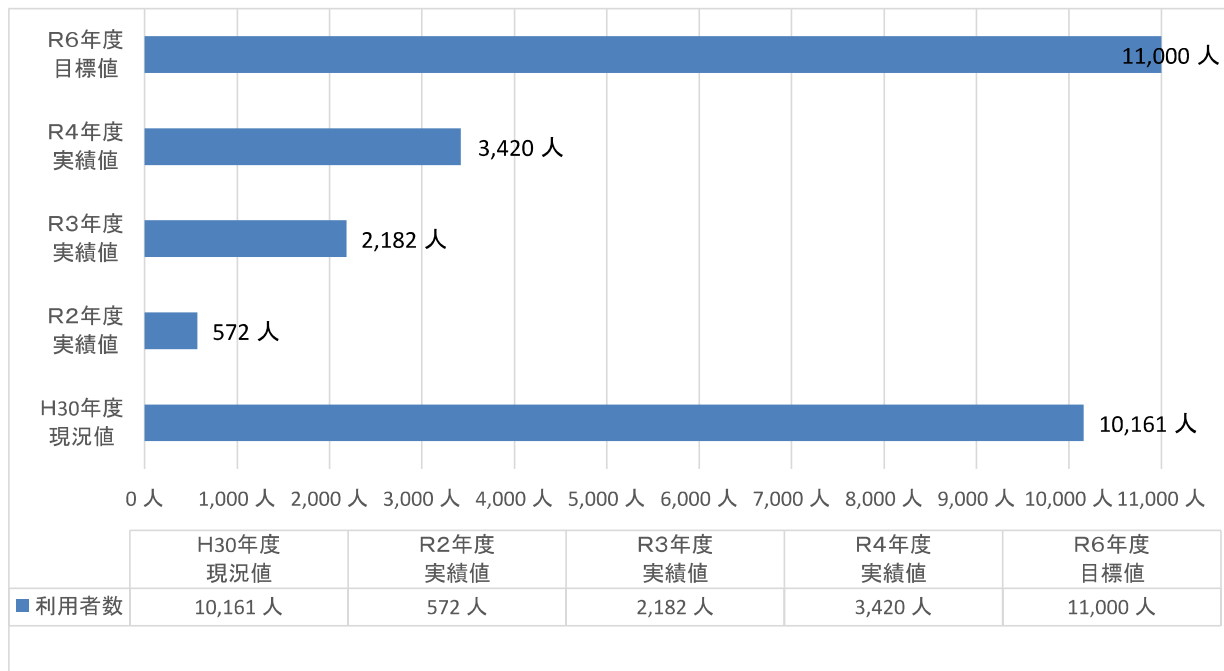
目標となる指標	1	青少年育成甲斐市各地区民会議・甲斐市子どもクラブ指導者連絡協議会が主催する子どもを対象とした事業への参加人数
取組内容	地域で活躍する子どもたちを育成するためのジュニアリーダーの確保やその子どもたちを育成する。新型コロナウイルス感染拡大の影響で計画通りに行事を行うことが難しかった。	



分析・評価	コロナ過の中、各地区において感染対策を徹底しながら、できる範囲で各種行事を行った。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	4	生涯学習・文化活動の推進	生涯学習文化課
施策項目	(3)	文化芸術に親しむ機会の充実	

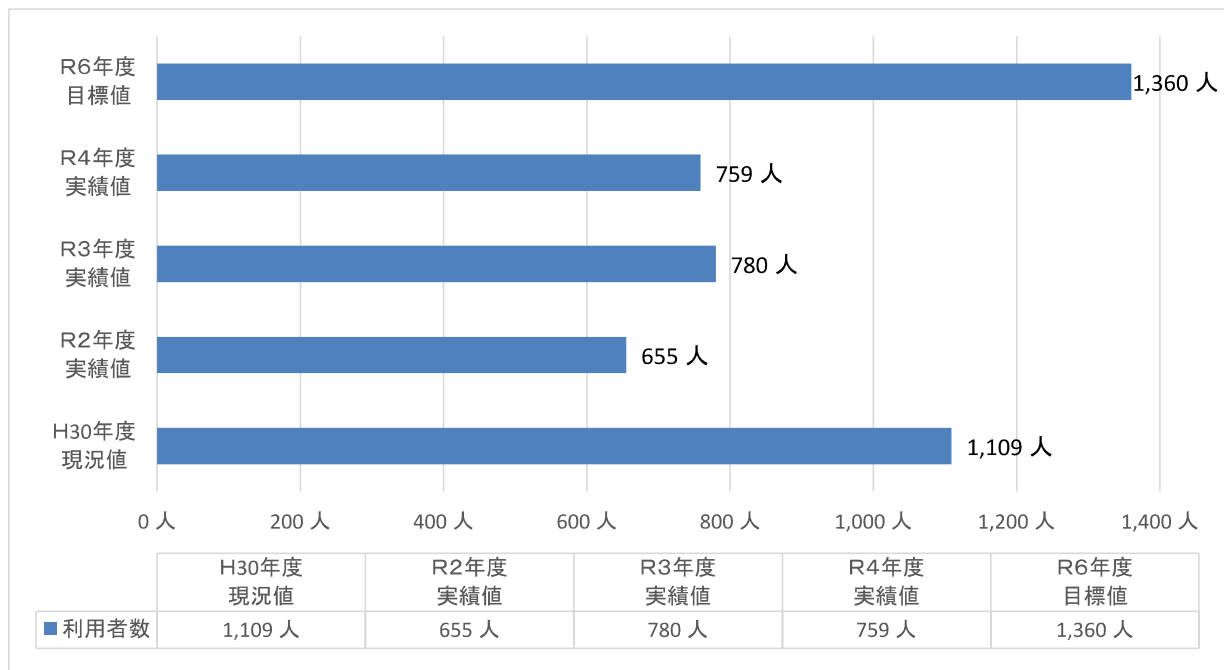
目標となる指標	1	市生涯学習施設で開催される発表会等の参加者数
取組内容	市民の価値観が多様化するなかで、多くの市民が創造的で心豊かな生活を送れるよう、文化芸術に親しむ機会の充実を図る。令和3年度より1,000人以上増加となった。	



分析・評価	コロナ過の中、定員削減や感染対策を徹底しながら、KAIふれあいステージやおでかけコンサート等を行った。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	4	生涯学習・文化活動の推進	生涯学習文化課
施策項目	(4)	歴史遺産の保存と活用及び継承	

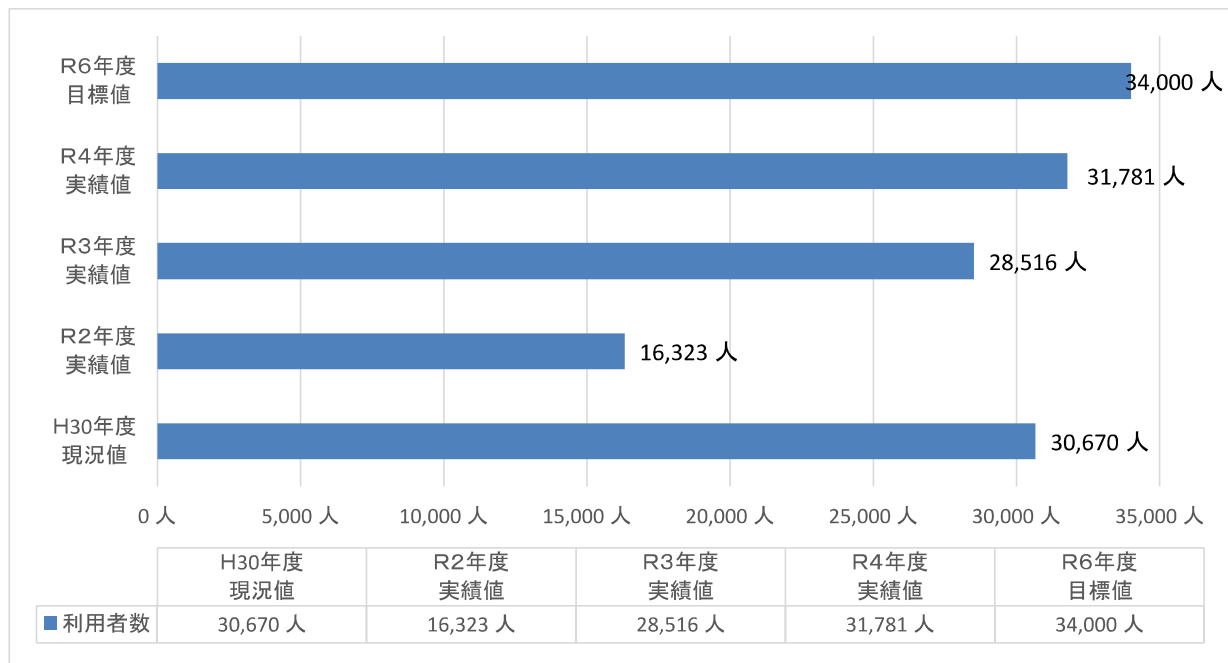
目標となる指標	1	市内小中学校教員を対象とした郷土史教育研修、及び児童を対象とした地域学習への出前授業の参加者人数
取組内容	教員を対象とした学区の文化財を説明する郷土史教育研修を1回、児童を対象とした、信玄堤や昔の道具についてなどを説明する地域学習への出前授業を15回行った。	



分析・評価	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた授業が中止になったりしたが、回数は昨年と比べ増加している。今後の継続して事業の推進を行いたい。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	5	スポーツの推進	スポーツ振興課
施策項目	(1)	スポーツ事業と活動機会の充実	

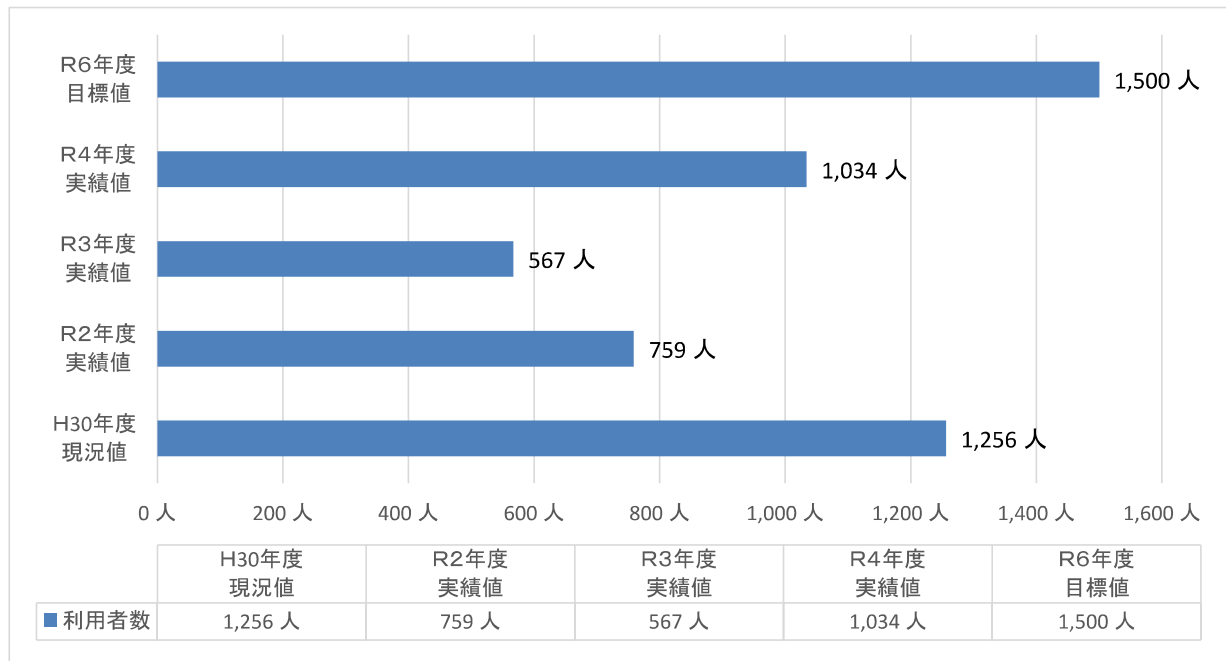
目標となる指標	1	ラジオ体操事業への参加者数
取組内容	第3次ラジオ体操のまち推進計画に基づき、ラジオ体操事業を実施した。	



分析・評価	コロナ禍において中止した事業もあったが、徐々に事業を再開したことにより参加者の増加につながった。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	5	スポーツの推進	スポーツ振興課
施策項目	(1)	スポーツ事業と活動機会の充実	

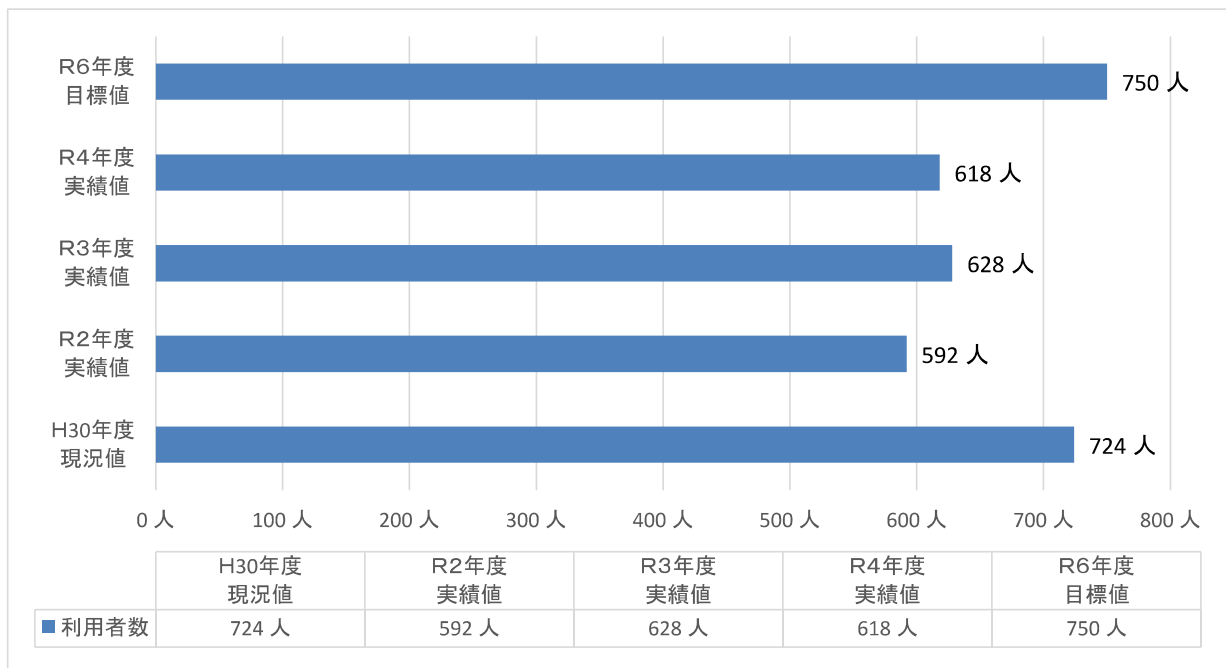
目標となる指標	2	市スポーツ協会加盟競技団体、専門部で実施した初心者教室への参加者数
取組内容	コロナ禍においても、スポーツ協会加盟協議団体、専門部で徐々に初心者教室を再開し実施した。	



分析・評価	コロナ禍ではあったが、徐々に初心者教室を再開できたことにより、参加者の増加につながった。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	5	スポーツの推進	スポーツ振興課
施策項目	(2)	スポーツ参画体制の整備	

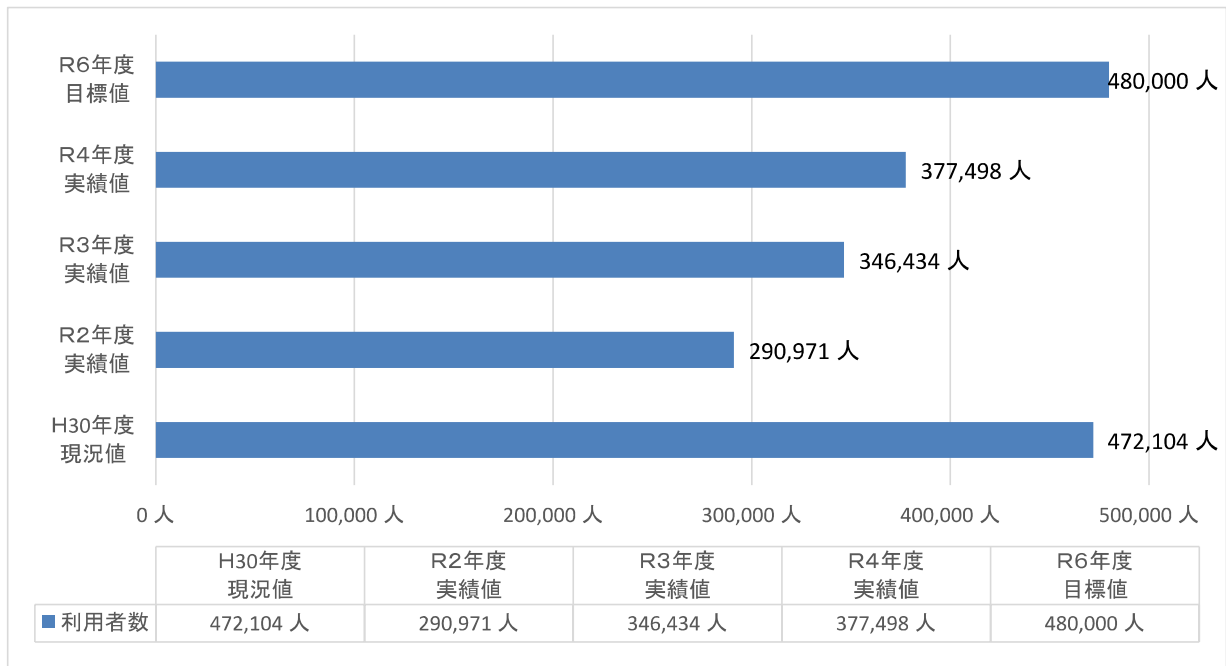
目標となる指標	1	市スポーツ少年団の登録団員数
取組内容	年度当初に市内小中学校に団員募集のチラシを配布した。各団が作成した団員募集チラシを随時受け付けており、学校への配布を許可した。	



分析・評価	少子化や多様な生活スタイルが進む中で、団員数の確保が今後の課題となると考えるので、引続きチラシ等の配布や情報発信に協力していく。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	5	スポーツの推進	スポーツ振興課
施策項目	(3)	スポーツ施設の整備充実	

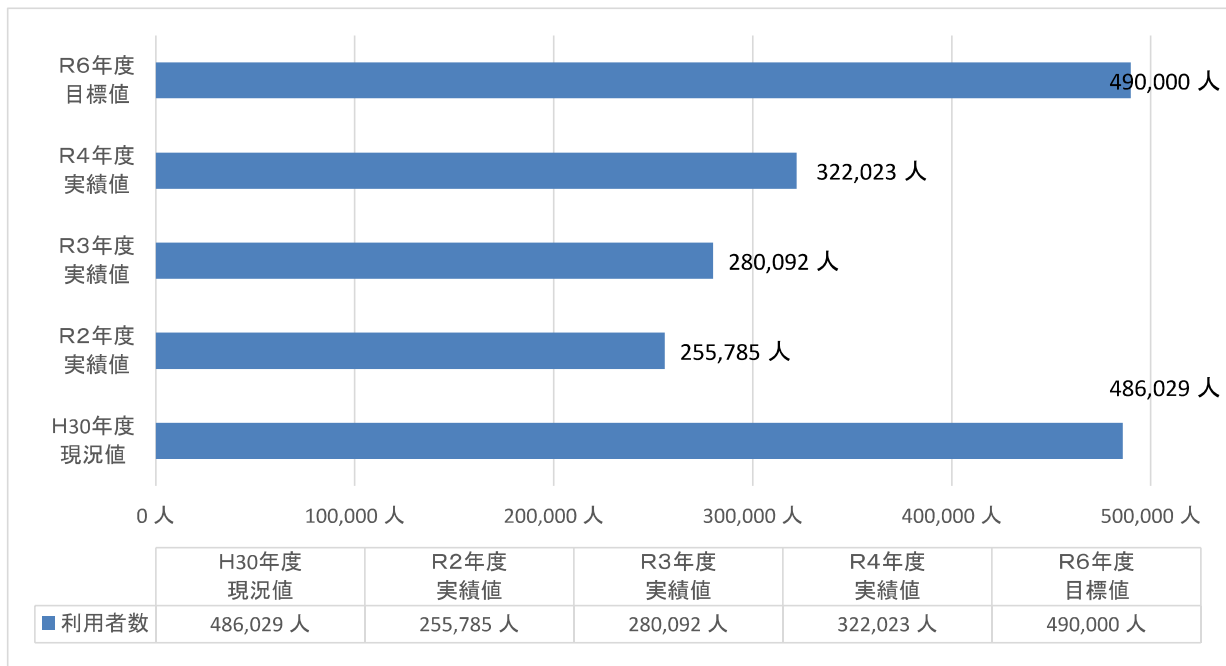
目標となる指標	1	市内スポーツ施設の利用者数
取組内容	コロナの感染状況から、一部の施設では休日夜間の運営時間を短縮し、大会では人数制限して対応した。また、利用者には、感染拡大予防ガイドラインに基づき利用するよう周知した。	



分析・評価	施設利用の停止は行わず開放したことで、利用者の増加につながった。	評価	C
-------	----------------------------------	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	6	図書館活動の推進	図書館
施策項目	(1)	図書館サービスの充実	

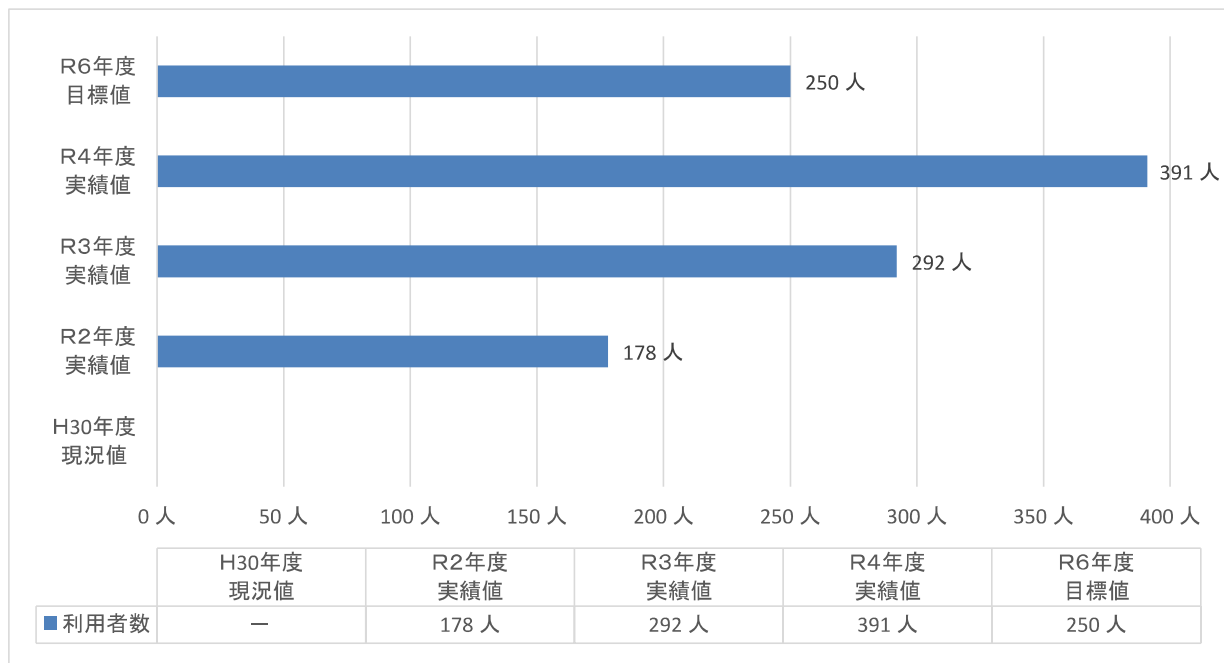
目標となる指標	1	市立図書館の入館者数
取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、読書席等の利用について制限はあったが、臨時休館することなく、予定通り開館することができた。	



分析・評価	読書席等の利用についての制限はあったが、臨時休館することなく開館できたため、令和3年度より増加した。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	6	図書館活動の推進	図書館
施策項目	(2)	図書館事業の多面的推進	

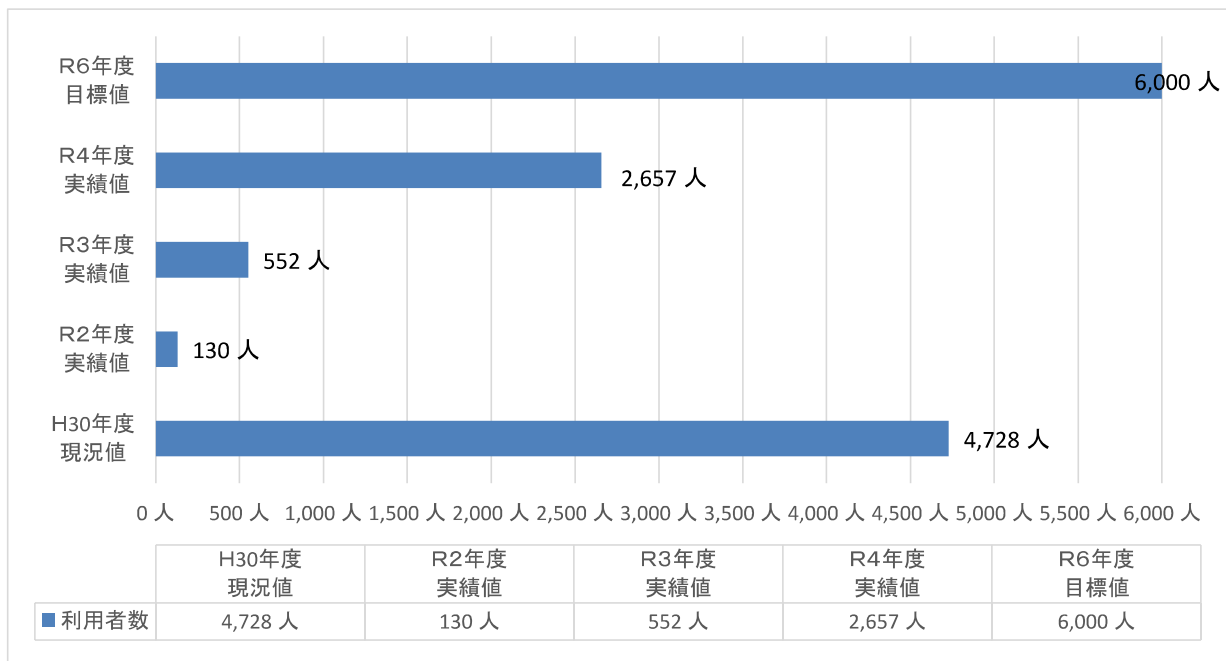
目標となる指標	1	「甲斐・本の寺子屋」事業への参加者数
取組内容	講師を選定し、年4回予定していた事業をすべて開催することができた。	



分析・評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座席利用の制限はあったが、双葉ふれあい文化館、竜王図書館視聴覚室と広い会場で、予定していた事業をすべて実施することができた。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	6	図書館活動の推進	図書館
施策項目	(2)	図書館事業の多面的推進	

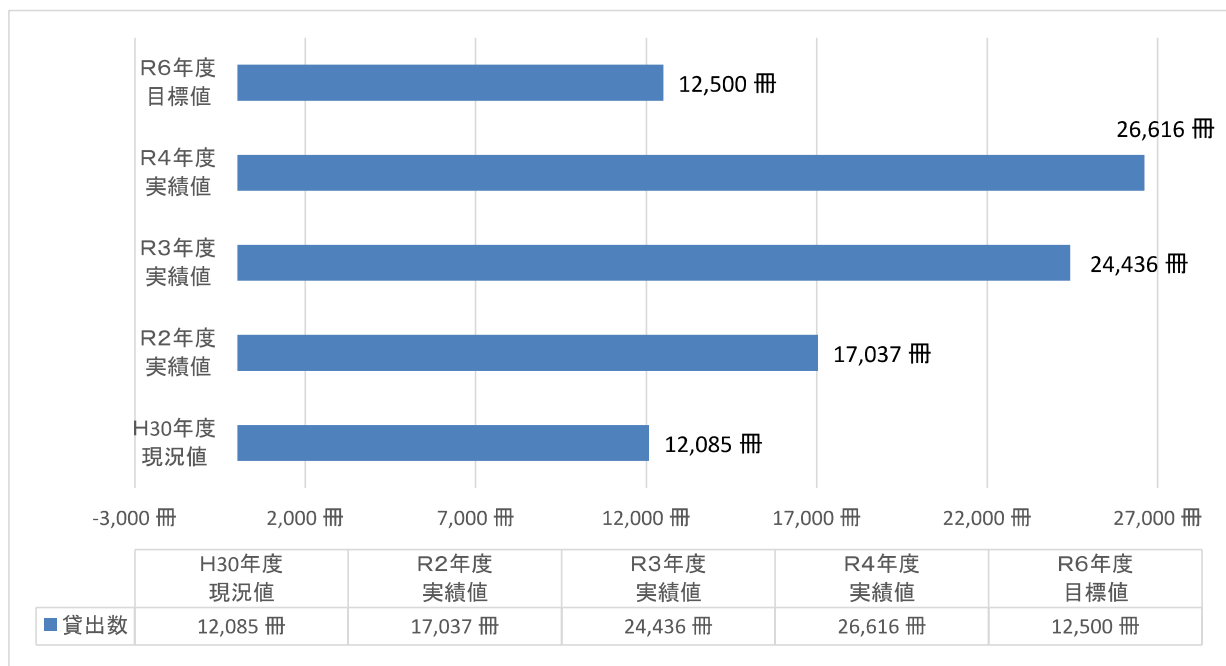
目標となる指標	2	Wi-Fiの利用者数
取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、制限はあったが、換気や清掃といった対策をしながら読書席等が利用可能となったことで、調査研究等で滞在利用する方の増加を図った。	



分析・評価	読書席等を利用し、館内に滞在する方を増やすことで、Wi-Fi利用者が増加した。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	2	人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり	担当課
基本方針	6	図書館活動の推進	図書館
施策項目	(3)	子ども読書活動の推進	

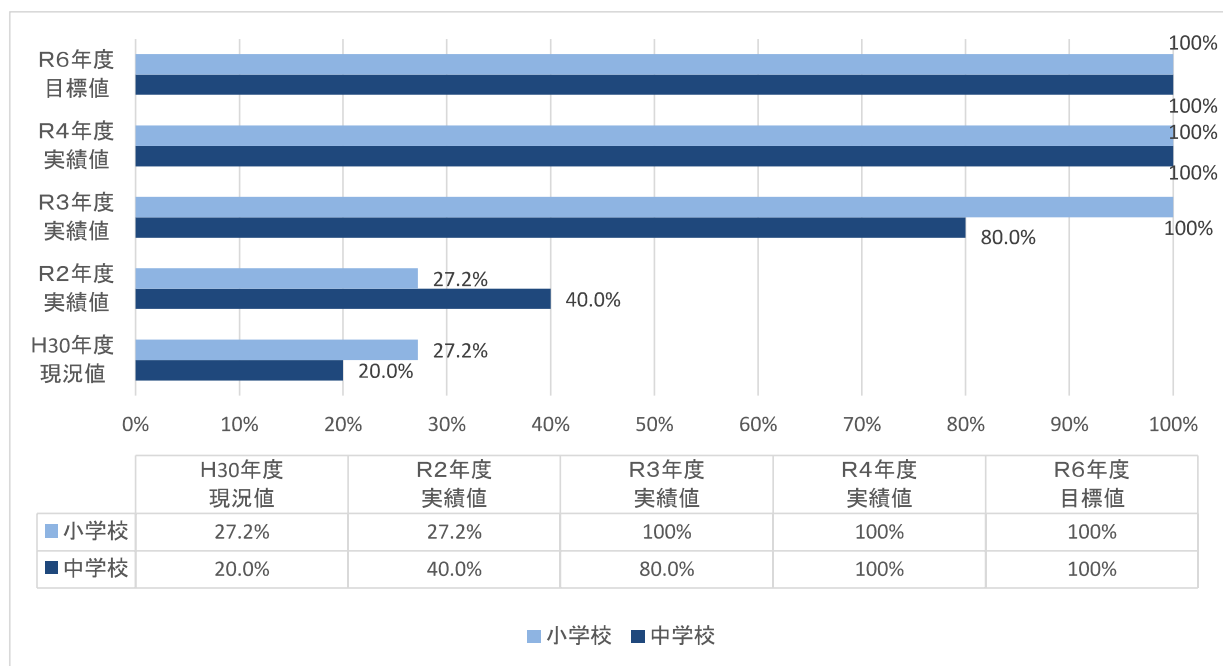
目標となる指標	1	幼稚園、保育園、児童館等への貸出冊数
取組内容	移動図書館の中で、マスクができない年齢の園児等へのおはなし会ができなかったため、園や児童館等に、図書を貸し出し、届ける回数を増やした。	



分析・評価	マスクができない年齢の園児等へのおはなし会ができなかったが、読書活動推進のため、図書を貸し出し、届ける回数を増やしたことで、冊数が増加した。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	3	誰もが安心して学べる教育環境づくり	担当課
基本方針	7	質の高い教育のための環境整備	学校教育課
施策項目	(1)	学校における働き方改革の推進	

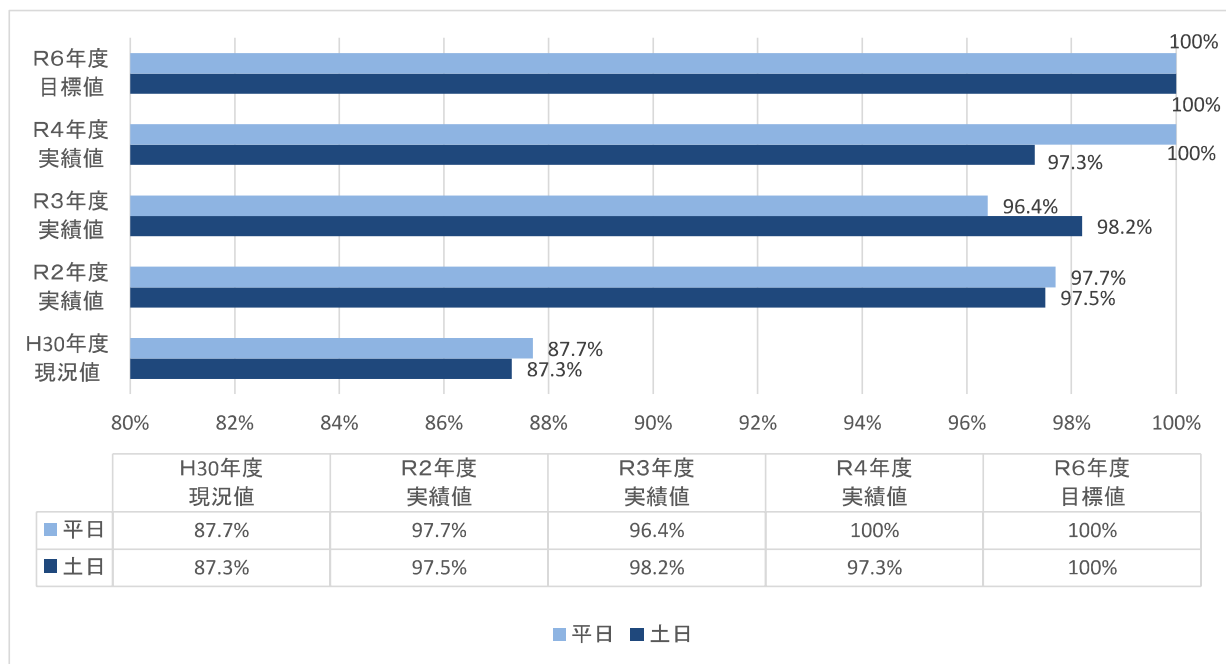
目標となる指標	1	年間20回以上「きずなの日」を実施している学校の割合
取組内容	これまで原則月曜日とされていた「きずなの日」の設定を各校自由に設定するようにした。	



分析・評価	各校が自由に設定することで、20回を超える学校が多く見られるようになった。「きずなの日」が定着してきている。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	3	誰もが安心して学べる教育環境づくり	担当課
基本方針	7	質の高い教育のための環境整備	学校教育課
施策項目	(1)	学校における働き方改革の推進	

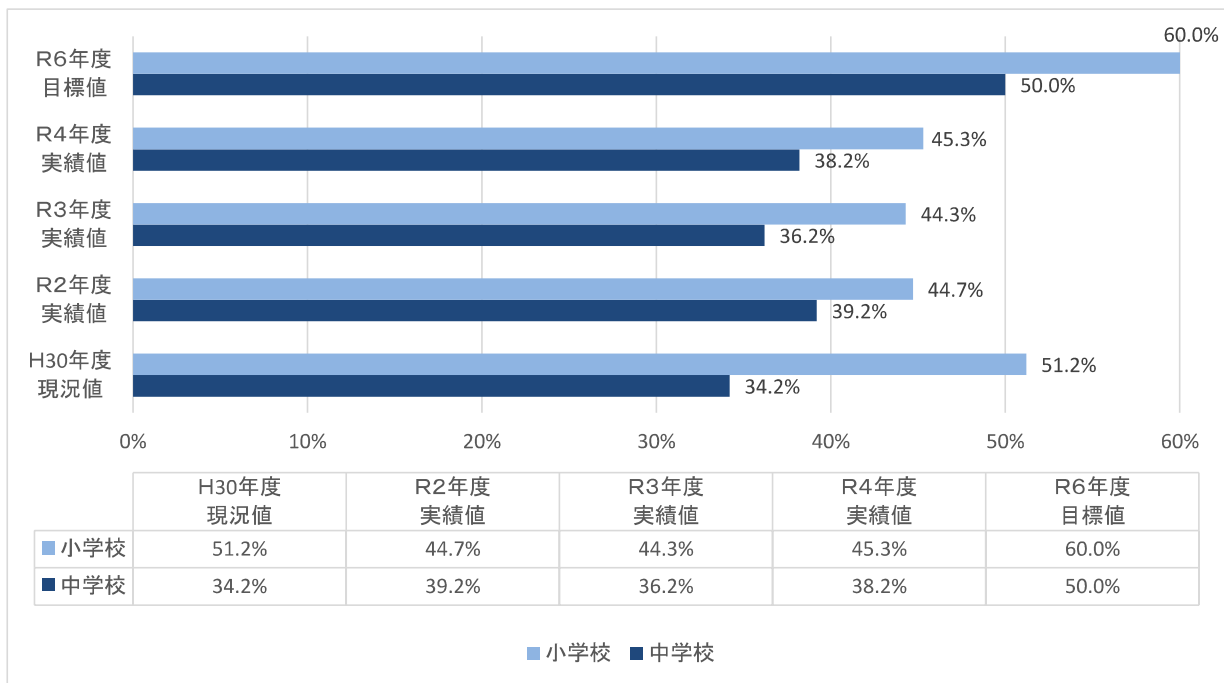
目標となる指標	2	部活動指導実態調査における「平日1日と土日どちらか1日を休養日としている部活動の顧問の割合」 ※中学校のみ
取組内容	ガイドラインを作成し、適切な活動時間や休養日を設定し周知した。また、年間指導計画を作成し、見通しを持った活動を進めるよう指導した。	



分析・評価	ガイドラインの周知の徹底がされてきた。先を見通すことで、計画的に活動を進められるようになってきた。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	3	誰もが安心して学べる教育環境づくり	担当課
基本方針	7	質の高い教育のための環境整備	学校教育課
施策項目	(2)	魅力ある学校を支える指導体制の充実	

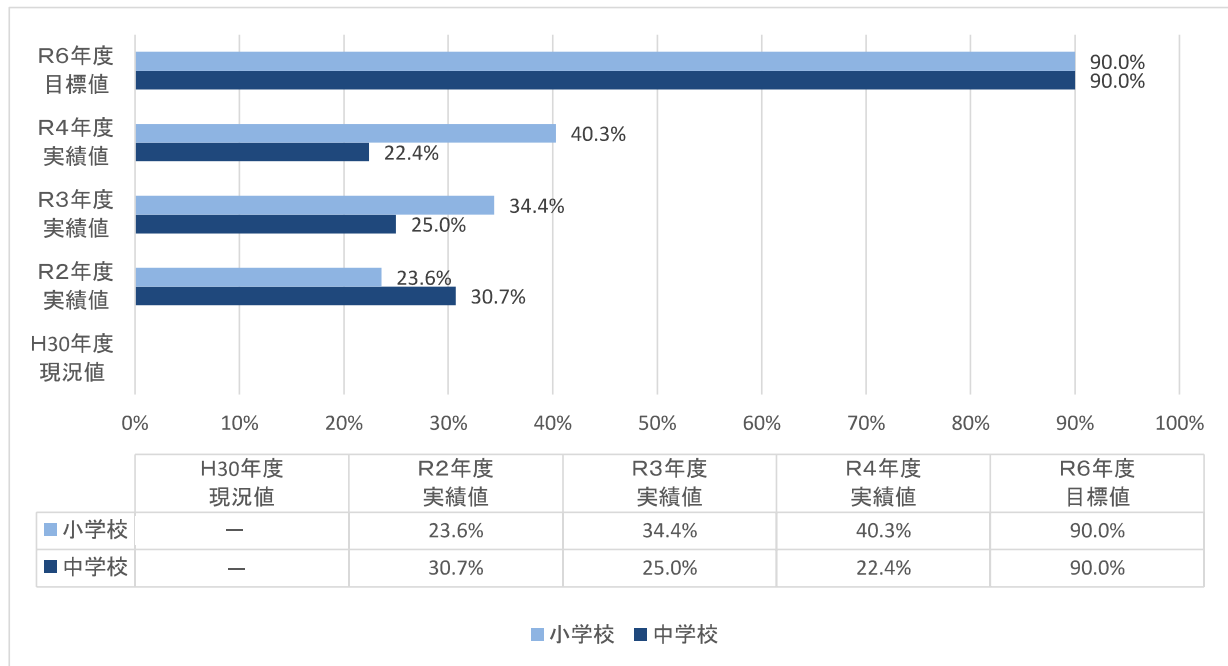
目標となる指標	1	甲斐市学校評価・教職員アンケートにおける「あなたは校内研究(研修)に主体的に関わっている」の設問に「とてもそう思う」と回答した教職員の割合
取組内容	教師力向上総合講座等を実施し、教員の資質向上と指導力向上を図った。特色ある学校づくりを推進するために、市で研究校を指定し、授業改善などの取組を進めた。	



分析・評価	研修に参加する人数の減少がみられる。今後は、GIGAスクール構想や不登校など身近な教育的課題を取り上げ、内容の見直しなどにより、研修に関わる機会の増加を図りたい。	評価	C
-------	---	----	---

基本目標	3	誰もが安心して学べる教育環境づくり	担当課
基本方針	7	質の高い教育のための環境整備	教育総務課
施策項目	(3)	安全・安心で質の高い教育環境の整備	

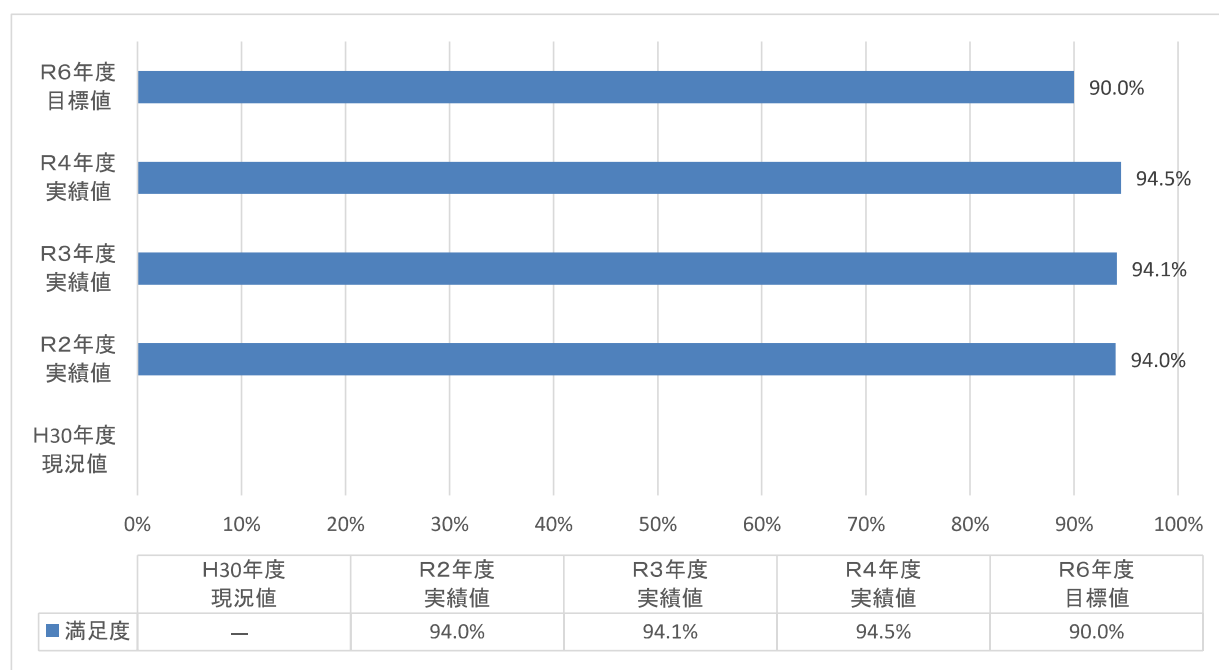
目標となる指標	1	甲斐市学校評価・教職員アンケートにおける「あなたは校務支援システムを十分に活用できていますか」の設問に「とてもそう思う」と回答した教職員の割合
取組内容	校務支援システムの操作方法や手順について担当指導主事から指導を行った。また、教職員から報告のあった改善点を集約し、県へ要望として挙げた。	



分析・評価	引き続き、現場から挙げた改善点については県担当に要望していく。また「とてもそう思う」と答えることには難しさがあり、今回の結果も「そう思う」の回答をあわせると小中学校で92.6%となることから、次期改定時には目標設定を見直すことも必要である。	評価	C
-------	--	----	---

基本目標	3	誰もが安心して学べる教育環境づくり	担当課
基本方針	8	多様な学びの機会の充実と提供	福祉課 学校教育課
施策項目	(1)	すべての子どもの学習機会の支援	

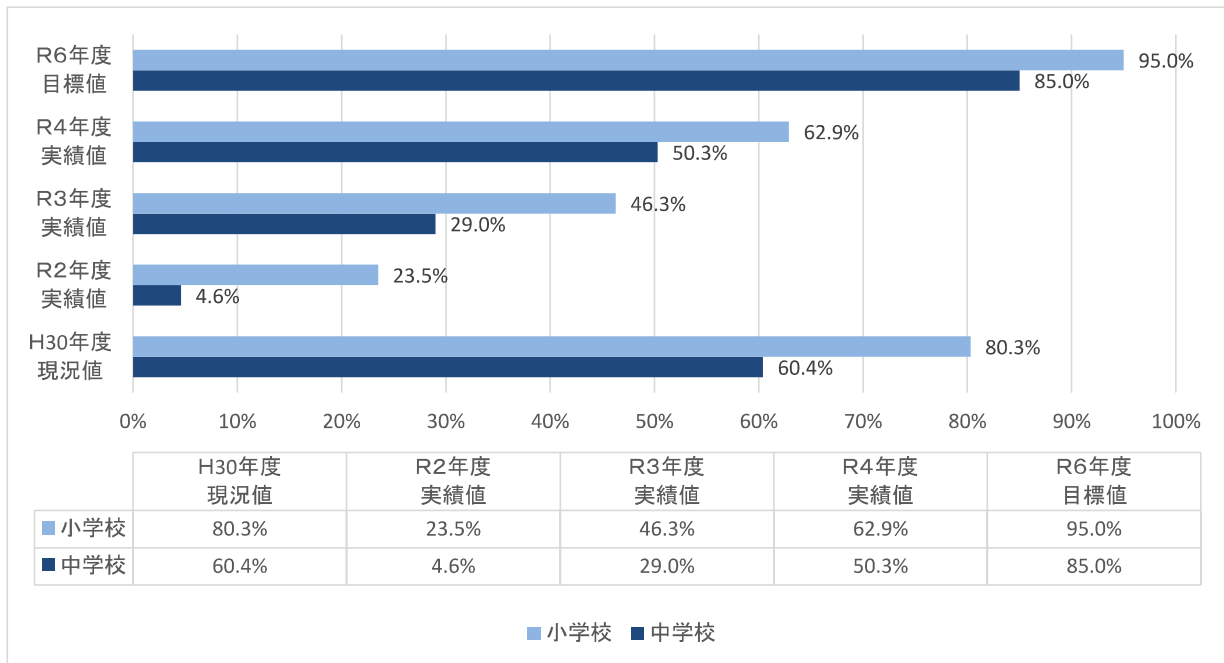
目標となる指標	1	「甲斐市子どもの学習支援事業」に参加した生徒のうち満足と感じた生徒の割合
取組内容	就学援助対象世帯の市内中学3年生を対象に、8月から2月までの夜間、市内公民館にて36回開催。毎回、食糧支援として軽食を提供した。【福祉課】 市内在住の中学生を対象に、5月から2月までの土曜日、市内の4公民館を会場として全20回開催した。指導者(チューター)は山梨大学と県立大学の学生にお願いし、自主学習の補助として支援してもらった。【学校教育課】	



分析・評価	事業参加者全員の高校進学を確認、目標を達成した。参加者等へのアンケート結果により、今後は対象を中学1、2年生に拡大することを検討している。【福祉課】 参加者は意欲的に自主学習に取り組んだ。学生チューターも中学生のために分かりやすいアドバイスができるように努力していた。学生のチューターを確保することが難しい。【学校教育課】	評価	A
-------	--	----	---

基本目標	3	誰もが安心して学べる教育環境づくり	担当課
基本方針	8	多様な学びの機会の充実と提供	学校教育課
施策項目	(2)	多様性を包み込む教育の推進	

目標となる指標	1	小中学校の全教員のうち、特別支援教育に関連した研修を受けた割合
取組内容	年々特別な支援を必要とする児童生徒が増加するなかで、特別支援教育を教員全員に「通常装備」とすることが求められている。現場にいる先生が一番そのことを肌で感じていることもあり、研修を受ける割合は増加している。	



分析・評価	特別な支援を必要としている児童生徒数が激増している現状をしっかりと伝え、これからも教員全員が「通常装備」となるために学ぶ重要性をしっかりと周知していきたい。	評価	C
-------	---	----	---